

2016 年秋季年会

年会プログラム

於 愛媛大学

2016 年 9 月 14 日 (水) ~ 9 月 16 日 (金)

日本天文学会

日本天文学会 2016 年秋季年会プログラム

期 日 2016 年 9 月 14 日 (水) ～ 9 月 16 日 (金)

場 所 愛媛大学城北キャンパス (愛媛県)

電 話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2016 年 9 月 13 日 (火) ～ 9 月 16 日 (金) >

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19			
9月14日 (水)	A			P1. 星・惑星				P1. 星・惑星		天文教育 フォーラム (J会場)	理 事 会				
	B			S. 銀河核				S. 銀河核							
	C			R. 銀河				R. 銀河							
	D			Q. 星間現象				Q. 星間現象							
	E		受付	U. 宇宙論	昼 休 み	ポスター	U. 宇宙論/V3. 観測機器								
	F	T. 銀河団		V2. 観測機器											
	G	N. 恒星		N. 恒星											
	H	L. 太陽系		W2. コンパクト天体											
	I	Y. 教育・他		X. 銀河形成											
	J	Z1. データ科学		Z1. データ科学											
9月15日 (木)	A			P1. 星・惑星						P1. 星・惑星		会 員 全 体 集 会 (J会場)	懇 親 会 (生協食堂)		
	B			S. 銀河核						P2. 星・惑星					
	C			R. 銀河/V1. 観測機器						V1. 観測機器					
	D			Q. 星間現象						Q. 星間現象					
	E	受付	V3. 観測機器	昼 休 み (代議員総会)	ポスター	V3. 観測機器									
	F		V2. 観測機器			V2. 観測機器									
	G		M. 太陽			M. 太陽									
	H		W1. コンパクト天体			W1. コンパクト天体									
	I		X. 銀河形成			X. 銀河形成									
	J		Z2. 重力波天文			Z2. 重力波天文									
9月16日 (金)	A					K. 超新星爆発									
	B					P2. 星・惑星				P2. 星・惑星					
	C					V1. 観測機器				V1. 観測機器					
	D					Q. 星間現象									
	E	受付	V3. 観測機器	昼 休 み	ポスター										
	F		V2. 観測機器												
	G		M. 太陽			M. 太陽									
	H		W1. コンパクト天体			W1. コンパクト天体									
	I		X. 銀河形成												
	J		Z2. 重力波天文												
			9			10	11	12	13	14	15	16	17	18	19

A 会場 : 共通教育棟 A1F

B 会場 : 共通教育棟 A2F

C 会場 : 共通教育棟 A2F

D 会場 : 共通教育棟 A2F

E 会場 : 共通教育棟 A3F

F 会場 : 共通教育棟 A3F

G 会場 : 共通教育棟 A3F

H 会場 : 共通教育棟 A4F

I 会場 : 共通教育棟 A4F

J 会場 : グリーンホール

受 付 : 共通教育棟 A1F

ポスター会場 : 大学会館 3F

展示コーナー : 大学会館 3F

会 議 室 : 校友会館 2F

懇 親 会 : 大学会館 1F 生協食堂

◎講演数

講演数：合計 660

(口頭講演 (a)：467、ポスター講演 (b)：157、ポスター講演 (c)：36)

◎参加登録について (参加者は、当日必ず参加登録をしてください。)

2011年秋季年会より、講演登録費は、講演申込時にお支払いいただく事になっています。

2016年秋季年会より、通常セッションにおける講演は会員に限ります。

○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
(但し講演ありの場合、参加費は無料)		
講 演 登 録 費	3,000 円 (不課税)	10,000 円 (消費税込み、企画セッション) (1 講演につき)
(但し事前支払がない場合は、会員 4,000 円、非会員 11,000 円)		
年 会 予 稿 集	2,000 円 (消費税込み)	2,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付 (共通教育棟 A1F)

○参加登録受付時間：9月14日 10:00～16:00

9月15日 09:00～16:00

9月16日 09:00～13:30

※参加費は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。

※参加費用支払い時に渡される領収書は、再発行はできませんので、大切に保管してください。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費の返金はいたしません。

※懇親会に参加される方は、隣の懇親会専用の受付にて懇親会の参加費をお支払いください。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は10会場で並行して行います。口頭講演(添字 a)は、口頭発表9分、質疑応答3分です。ポスター講演(添字 b)は、口頭発表3分、3講演で12分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表(添字 b)、(添字 c)は、9月14日の10:00から9月16日の13:30までポスター会場の指定された場所に掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。ポスターサイズは縦180cm×横90cmです。
3. 講演には液晶プロジェクターをご使用ください。液晶プロジェクターは、セッション開始前にPCの接続を確認してください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、次の講演者は前の講演中にPCを接続しておいてください。

◎会期中の行事

月日	時間	会場	行事名
9月14日 (水)	17:30～19:00	J会場	天文教育フォーラム
9月15日 (木)	16:00～17:00	J会場	会員全体集会
	17:30～	大学会館 1F 生協食堂	懇親会

◎会合一覧表

月日	時間	会場	会合名	一般参加可否
9月14日 (水)	19:15～	会議室	理事会	D
	13:00～14:00	B会場	PASJ 編集委員会議	D
9月15日 (木)	11:30～12:30	B会場	理論天文学宇宙物理学懇談会報告会	C
	11:30～12:30	C会場	代議員総会	D
	11:30～12:30	D会場	宇宙電波懇談会集会	C
	11:30～12:30	E会場	高エネルギー宇宙物理連絡会報告会	B
	11:30～12:30	G会場	太陽研究者連絡会・運営委員会	D
9月16日 (金)	11:30～12:30	B会場	天文・天体物理若手の会総会	C
	11:30～12:30	C会場	SKA-Japan 定期会合	A
	11:30～12:30	G会場	太陽研究者連絡会・報告会	C
	11:30～12:30	H会場	光学赤外線天文連絡会総会	C

※一般参加可否の説明（オープン化の程度）

- A: 誰でも大歓迎で是非来てほしい
- B: 興味を持った人には広く門戸を開いている
- C: 関係グループ向けのものだが部外者も特に拒みはしない
- D: 関係者のみにクローズした非公開の会合

◎天文教育フォーラム：「STEM/STEAM 教育と天文学」

共催：天文教育普及研究会

日 時：2016年9月14日（水）17：30～19：00

場 所：J会場

概 要：近年STEM教育という言葉がしきりに聞かれるようになった。STEM教育とはScience(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)に重点をおき、それらを横断的かつ総合的に学ぶ教育を推進していこうという、世界的な動きである。特に米国では学校教育のほか、EPO活動、アフタースクール、サマースクールなどの取り組みが、研究機関、高等教育、社会教育施設で盛んに行われている。日本では、大学の工学部において大学の質向上やアウトリーチ活動として、プログラミングやロケット教室など、いち早く取り組みが進んでいる。

近代天文学は、研究や役割分担が細分化されているが、観測機器の設計、観測、データ解析、データの可視化といったSTEMを総合した分野であり、さらにデータの可視化においては美術的な要素も含まれている。海外の科学館等ではSTEMにArt(美術)を加え、「STEMからSTEAMへ」という動きもあり、データの可視化に重点を置きつつある。天文学は、科学・技術・芸術・哲学など総合的に学問を扱う稀有な分野で、STEM/STEAM教育の実践の場として理想的な面を備えている。大学でのSTEM教育の取り組みと、科学データをドーム空間という特殊な空間に再現する可視化の技法についての話題提供とパネルディスカッションを通じて、天文学を用いたSTEM/STEAM教育の現状と今後の可能性を探っていく。

話題提供(予定)：山崎政彦(日本大学)

武田隆顕(国立天文台)

ファシリテータ：木村かおる(科学技術館)

費 用：天文教育フォーラムのみの参加費は不要です。天文学会年会受付で、その旨お伝えください。

実行委員：大山真満、木村かおる、鴈野重之、山根弘也

◎日本天文学会公開講演会：「宇宙の誕生と進化」

日 時：2016年9月17日（土）13：00～16：30

場 所：愛媛大学城北キャンパス 南加記念ホール

対 象：中学生以上、一般向け

概 要：「宇宙の誕生と進化」を理解しようとする宇宙論の分野は近年急速に進展しています。宇宙の年齢も精密に知られるようになり、宇宙が膨張する様子も詳しくわかってきています。この講演会では、最新の研究から理解されてきた宇宙の姿を、平易に解説します。

講 演 1：「星の誕生と進化」 山岡均氏（国立天文台 天文情報センター 准教授）

宇宙を形づくる基本である星の誕生と進化について解説します。星がその一生の最後に起こす超新星爆発の観測は、宇宙の進化を探る上で重要な役割を担っていることを紹介します。

講 演 2：「超新星で探る宇宙の誕生と進化」 土居守氏（東京大学 理学系研究科 教授）

超新星の観測から宇宙の膨張のスピードが加速していることがわかってきました。超新星の観測で探る宇宙の姿を、観測の現場の様子の紹介を交えながらわかりやすく解説します。

講 演 3：「大規模構造で探る宇宙の誕生と進化」 高田昌広氏（東京大学 カブリ数物連携宇宙研究機構 教授）

宇宙初期のわずかな物質のゆらぎを種として、銀河や銀河団が生まれ大規模構造とよばれる宇宙の構造が作られてきました。その様子を観測と理論の両面から解説します。

申 込：入場無料、参加申し込み不要です。

◎進路相談コーナー：

日 時：2016年9月15日（木）11:30 - 13:30

場 所：大学会館 3F（ポスター会場横）

概 要：大学院生及びポスドク研究員のみなさん、日々研究を進めるなかで将来について迷いや相談したいことがあったりしませんか。キャリア支援委員会ではそのような皆さんの進路選択の一助になればと、前回に引き続き進路相談コーナーを開催します。

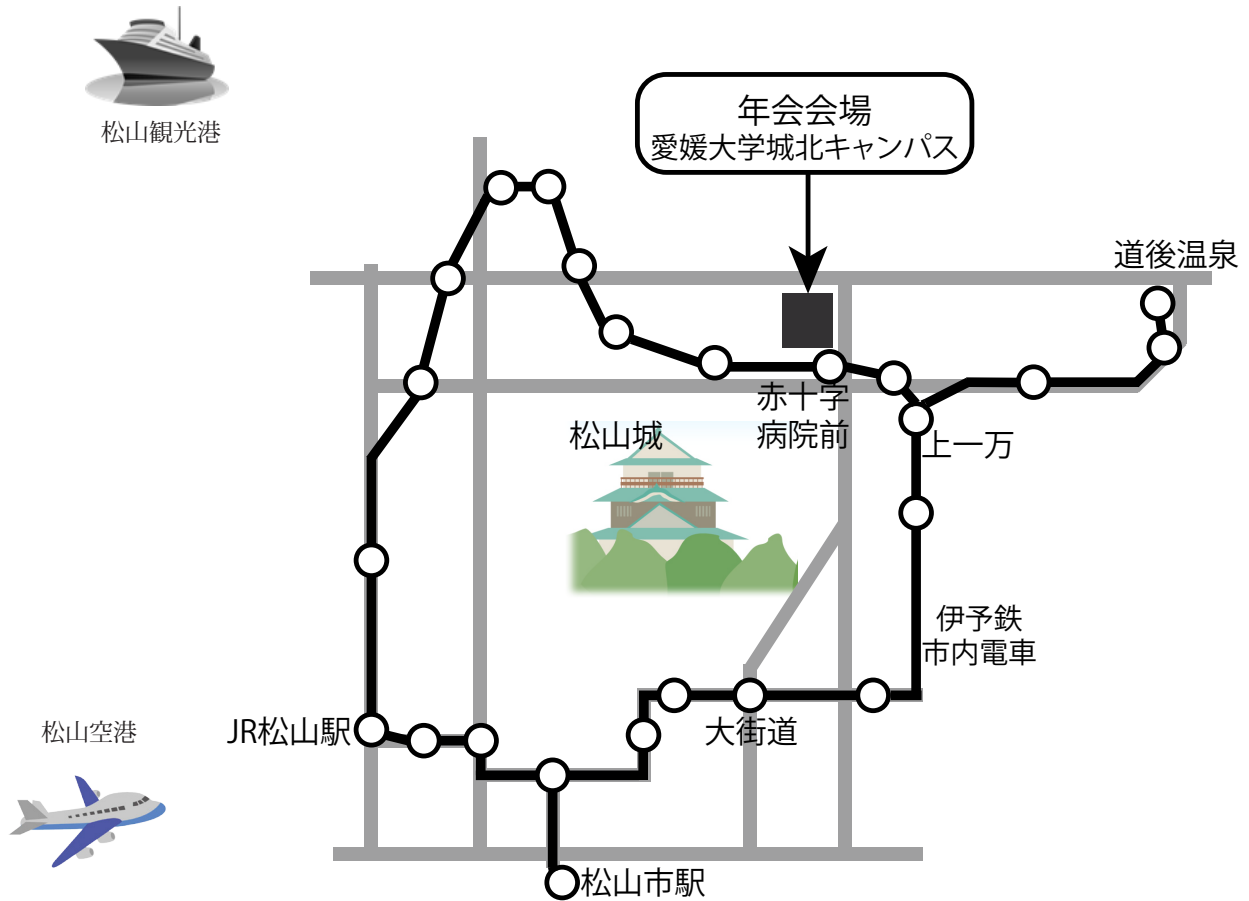
相談役には、大学や研究所などのいわゆるアカデミックポジション以外の道を選び、天文学とその周辺分野で学んだことを活かし、社会のさまざまな場で活躍する先輩方を中心にお招きする予定です。お昼ご飯を持ち込んで相談していただいても構いません。

ぜひ足を運んでみませんか？もちろん相談内容に関する個人情報や秘密は厳守されます。

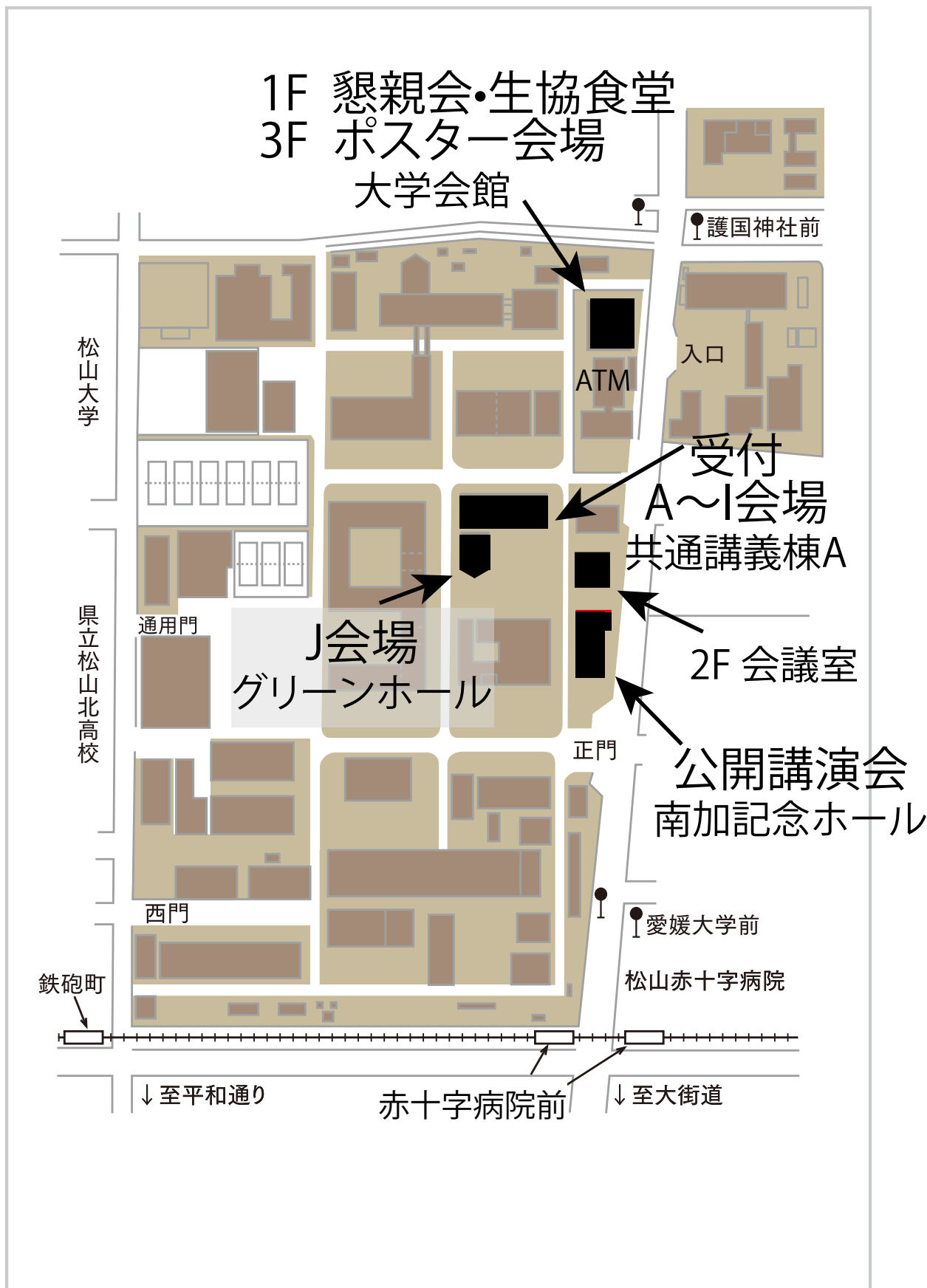
なお、相談役の方々の具体的な職種等については当日、会場にてお知らせします。

主 催：日本天文学会キャリア支援委員会

秋季年会会場 愛媛大学城北キャンパスのご案内

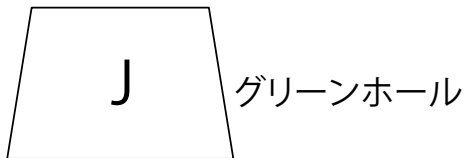
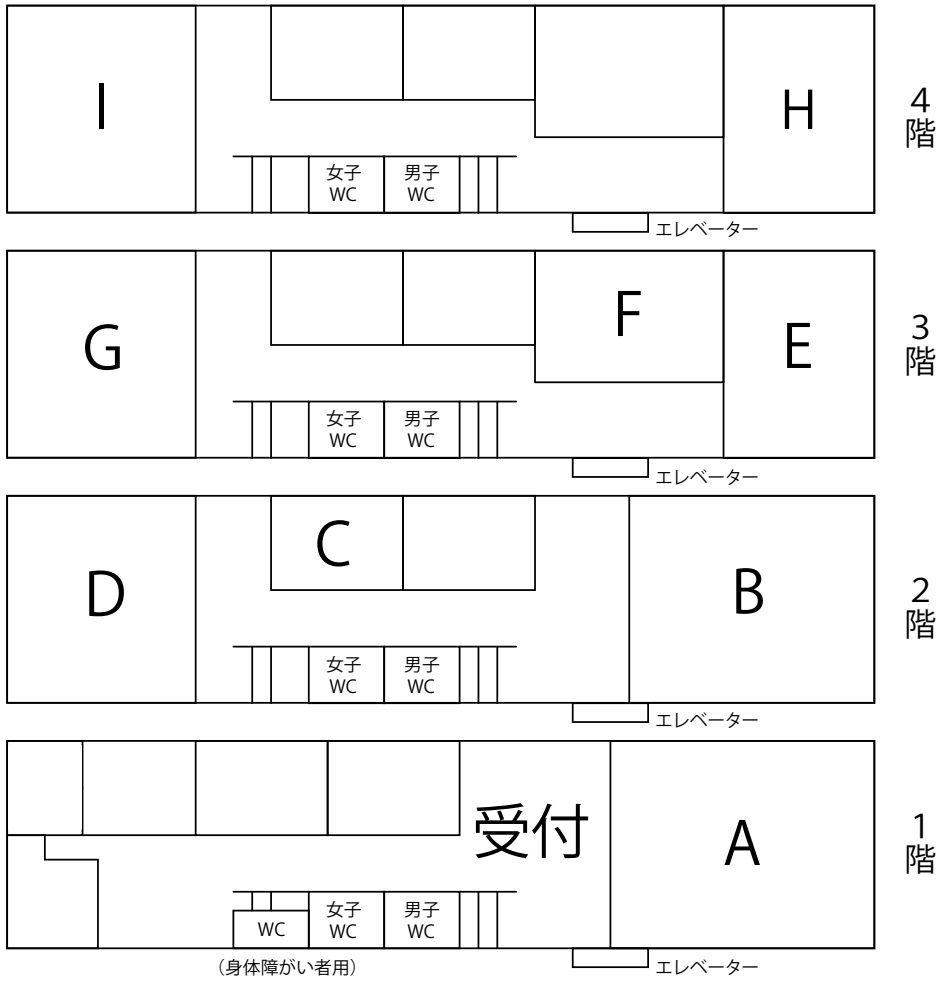


- JR 松山駅から
伊予鉄市内電車（環状線 1 番）古町方面（約 20 分）赤十字病院前下車 北へ徒歩 2 分
- 松山空港から JR 松山駅まで
空港リムジンバス 松山市駅行き または 道後温泉駅前行き（約 15 分）JR 松山駅下車
- 松山観光港から JR 松山駅まで
松山観光港リムジンバス 松山市駅行き または 道後温泉駅前行き（約 20 分）JR 松山駅下車

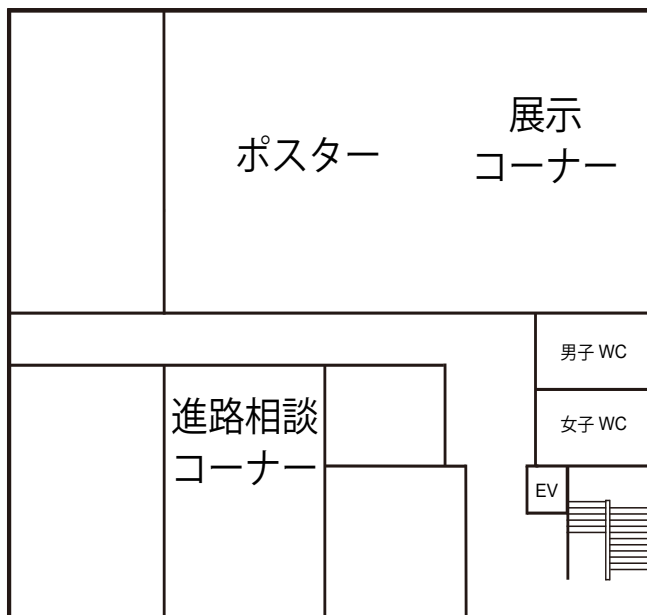


共通講義棟A

5階部分省略



大学会館 3階



口頭セッション 9月14日(水)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
開始時刻	【星・惑星】	【銀河核】	【銀河】	【星間現象】	【宇宙論】	【銀河団】	【恒星】	【太陽系】	【教育・他】	【データ科学】
11:00	P101a	S01a	R01a	Q01a	U01a	T01a	N01a	L01a	Y01a	Z101r) Z112b
11:12	P102a	S02a	R02a	Q02a	U02a	T02a	N02a	L02a	Y02a	
11:24	P103a	S03a	R03a	Q03a	U03a	T03a	N03a	L03b L04b L05b	Y03a	
11:36	P104a	S04a	R04a	Q05a	U04a	T04a	N04a	L06a	Y04a	
11:48	P105a	S05a	R05a	Q06a	U05a	T05b T06b	N05b N06b	L07a	Y05a	
12:00	P106a	S06a	R06a	Q07a	U06a	T07a	N07a	-	Y06a	
12:12	P107a	S07a	R07a	Q08a	U07a	T08a	N08a	-	Y07a	
12:24	P108a	S08a	R08a	Q09a	U08a	T09a	N09a	-	Y08a	
12:36	P109a	S09a	R10b R11b R12b	Q10b Q11b Q12b	U09a	T10a	N11a	-	Y09b Y10b Y11b	
12:48	P110a	-	R13a	Q13b Q14b Q15b	U10b U11b	T11a	N12a	-	Y12b	
13:00	P111a	-	-	-	-	-	-	-	-	
13:00	昼休み									
14:00	ポスター									
開始時刻	【星・惑星】	【銀河核】	【銀河】	【星間現象】	【宇宙論/観測機器】	【観測機器】	【恒星】	【コンパクト天体】	【銀河形成】	【データ科学】
15:00	P112a	S10a	R14a	Q16a	U12a	V201a	N13a	W201a	X01a	Z113r) Z121a
15:12	P113a	S11a	R15a	Q17a	U13a	V202a	N14a	W202a	X02a	
15:24	P114b P115b P116b	S12a	R16a	Q18a	U14a	V203a	N15a	W203a	X03a	
15:36	P117a	S13a	R17a	Q19a	V301a	V204b V205b V206b	N16a	W204a	X04a	
15:48	P118a	S14a	R18a	Q20a	V302a	V207a	N17a	W205a	X05a	
16:00	P119a	S15a	R19a	Q21a	V303a	V208a	N18b N19b N20b	W206a	X06a	
16:12	P121a	S16a	R21a	Q22a	V304a	V209a	N21a	W207a	X07a	
16:24	P122a	S17b S18b S19b	R22a	Q23a	V305b V306b V307b	V210a	N22a	W208a	X08a	
16:36	P123a	S20b S21b S22b	R23a	Q24a	V308a	V211a	N23a	W209a	X09a	
16:48	P124a	-	R24a	Q25a	V309a	V212a	-	W210a	X10b X11b	
17:00	P125a	-	-	Q26a	V310b V311b	-	-	W211b W213b W214b	-	
17:12	-	-	-	-	-	-	-	W215b	-	-
17:30	天文教育フォーラム (J会場)									
19:15	理事会									

口頭セッション 9月15日(木)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
開始時刻	【星・惑星】	【銀河核】	【銀河/観測機器】	【星間現象】	【観測機器】	【観測機器】	【太陽】	【コンパクト天体】	【銀河形成】	【重力波天文】
09:30	P126a	S23a	R26a	Q27a	V312a	V213a	M01a	W101a	X12a	Z201r) Z211a
09:42	P127a	S24a	R27b R28b R29b	Q28a	V313a	V214a	M02a	W102a	X13a	
09:54	P128a	S25a	R30a	Q29a	V314a	V215a	M03a	W103a	X14a	
10:06	P129a	S26a	R31a	Q30a	V315a	V216b V217b V218b	M04a	W104a	X15a	
10:18	P130a	S27a	R32b V101b V102b	Q32a	V316a	V219b V220b V221b	M05a	W105a	X16a	
10:30	P131a	S28a	V103a	Q33a	V317a	V222a	M06b M07b M08b	W106a	X17a	
10:42	P132a	S29a	V104a	Q34a	V318a	V223a	M12b M13b M14b	W107a	X18a	
10:54	P133b P134b P135b	S30a	V105b V106b V107b	Q35a	V319b V320b V321b	V224b V225b V226b	M15b M16b M17b	W108a	X19b X20b X21b	
11:06	P136b P137b P138b	-	V109b V110b V111b	Q36a	V323b V324b	V227a	M18b M19b M20b	W109a	X22a	
11:18	P139b P140b P141b	-	V112b V113b	Q37a	-	V228a	M21b	W110a	X23a	
11:30	昼休み(代議員総会)(C会場)									
12:30	ポスター									
開始時刻	【星・惑星】	【星・惑星】	【観測機器】	【星間現象】	【観測機器】	【観測機器】	【太陽】	【コンパクト天体】	【銀河形成】	【重力波天文】
13:30	P142a	P201a	V115a	Q38a	V325a	V230a	M23a	W111a	X24a	Z212a) Z223b
13:42	P143a	P202a	V116a	Q39a	V326b V327b V328b	V231a	M24a	W112a	X25a	
13:54	P144a	P203a	V117a	Q40a	V329b V330b	V232b V233b V234b	M25a	W113a	X26a	
14:06	P145a	P204a	V118a	Q41a	V331a	V235a	M26a	W114a	X27a	
14:18	P146a	P205a	V119a	Q42a	V332a	V236a	M27a	W115a	X28a	
14:30	P147a	P206a	V120a	Q43a	V333a	V237a	M28a	W116a	X29a	
14:42	P148a	P207a	V121a	Q44a	V334a	V238a	M29a	W117a	X30a	
14:54	P149a	P208a	V122b V123b V124b	Q45a	V335a	V239a	M30a	W119b W120b W121b	X31b X32b X33b	
15:06	P150a	P209a	V125a	Q46a	V336a	V242a	M31a	W122b W123b W124b	X34a	
15:18	-	P210a	V126b V127b V128b	Q47a	V337b V338b	V243a	M32a	W125b W126b	X35a	
15:30	-	P211b P212b P213b	V129b V130b V131b	Q48a	-	-	-	-	-	
16:00	会員全体集会(J会場)									

口頭セッション 9月16日(金)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
開始時刻	【超新星爆発】	【星・惑星】	【観測機器】	【星間現象】	【観測機器】	【観測機器】	【太陽】	【コンパクト天体】	【銀河形成】	【重力波天文】
09:30	K01a	P216a	V132a	Q49a	V339a	V245a	M33a	W128a	X36a	Z224a) Z235a
09:42	K02a	P217a	V133a	Q50a	V340a	V246a	M34a	W129a	X37a	
09:54	K03a	P218a	V134b V135b V136b	Q51a	V341a	V247a	M35a	W130a	X38a	
10:06	K04a	P219a	V137a	Q52a	V342a	V248a	M36a	W131a	X39a	
10:18	K05a	P220a	V138b V139b V140b	-	V343a	V249a	M37a	W132a	X40a	
10:30	K06a	P221a	V141a	-	V344a	V250a	M38a	W133a	X43a	
10:42	K07a	P222a	V142a	-	V345a	V251a	M39a	W134a	X44a	
10:54	K08a	P223a	-	-	V346a	V252b V253b V255b	M40a	W135a	X45a	
11:06	K09a	P224b P226b P227b	-	-	V347a	V256a	M41a	W136a	X46a	
11:18	K10a	P229b P230b P231b	-	-	V348a	V257a	M42a	W137a	X47a	
11:30	K11a	-	-	-	-	V258a	-	-	-	
11:42	K12a	-	-	-	-	-	-	-	-	
11:54	K13a	-	-	-	-	-	-	-	-	
11:30	昼休み									
12:30	ポスター									
開始時刻		【星・惑星】	【観測機器】				【太陽】	【コンパクト天体】		
13:30	-	P232a	V143a	-	-	-	M43a	W138a	-	-
13:42	-	P233a	V144a	-	-	-	M44a	W139a	-	-
13:54	-	P234a	V145a	-	-	-	M45a	W140a	-	-
14:06	-	P235a	V146a	-	-	-	M46a	W141a	-	-
14:18	-	P236a	V147a	-	-	-	M47a	W142a	-	-
14:30	-	P237a	V148a	-	-	-	M48a	W143a	-	-
14:42	-	P238a	V149a	-	-	-	M49a	W144a	-	-
14:54	-	-	V150a	-	-	-	M50a	-	-	-
15:06	-	-	V151a	-	-	-	M51a	-	-	-

ポスターセッション 9月14日(水) ~ 9月16日(金)

<p>【Z1. データ科学】(7)</p> <p>Z106b Z107b Z108b Z109b Z110b</p> <p>Z111b Z112b</p> <p>【Z2. 重力波天文】(1)</p> <p>Z223b</p> <p>【L. 太陽系】(7)</p> <p>L03b L04b L05b L08c L09c</p> <p>L10c L11c</p> <p>【M. 太陽】(17)</p> <p>M06b M07b M08b M09c M10c</p> <p>M11c M12b M13b M14b M15b</p> <p>M16b M17b M18b M19b M20b</p> <p>M21b M22c</p> <p>【N. 恒星】(6)</p> <p>N05b N06b N10c N18b N19b</p> <p>N20b</p> <p>【P1. 星・惑星】(13)</p> <p>P114b P115b P116b P120c P133b</p> <p>P134b P135b P136b P137b P138b</p> <p>P139b P140b P141b</p>	<p>【P2. 星・惑星】(13)</p> <p>P211b P212b P213b P214c P215c</p> <p>P224b P225c P226b P227b P228c</p> <p>P229b P230b P231b</p> <p>【Q. 星間現象】(8)</p> <p>Q04c Q10b Q11b Q12b Q13b</p> <p>Q14b Q15b Q31c</p> <p>【R. 銀河】(10)</p> <p>R09c R10b R11b R12b R20c</p> <p>R25c R27b R28b R29b R32b</p> <p>【S. 活動銀河核】(6)</p> <p>S17b S18b S19b S20b S21b</p> <p>S22b</p> <p>【T. 銀河団】(2)</p> <p>T05b T06b</p> <p>【U. 宇宙論】(2)</p> <p>U10b U11b</p>
---	--

ポスターセッション 9月14日(水) ~ 9月16日(金)

<p>【V1. 観測機器】(27)</p> <p>V101b V102b V105b V106b V107b</p> <p>V108c V109b V110b V111b V112b</p> <p>V113b V114c V122b V123b V124b</p> <p>V126b V127b V128b V129b V130b</p> <p>V131b V134b V135b V136b V138b</p> <p>V139b V140b</p> <p>【V2. 観測機器】(23)</p> <p>V204b V205b V206b V216b V217b</p> <p>V218b V219b V220b V221b V224b</p> <p>V225b V226b V229c V232b V233b</p> <p>V234b V240c V241c V244c V252b</p> <p>V253b V254c V255b</p> <p>【V3. 観測機器】(18)</p> <p>V305b V306b V307b V310b V311b</p> <p>V319b V320b V321b V322c V323b</p> <p>V324b V326b V327b V328b V329b</p> <p>V330b V337b V338b</p> <p>【W1. コンパクト天体】(10)</p> <p>W118c W119b W120b W121b W122b</p> <p>W123b W124b W125b W126b W127c</p> <p>【W2. コンパクト天体】(5)</p> <p>W211b W212c W213b W214b W215b</p>	<p>【X. 銀河形成】(10)</p> <p>X10b X11b X19b X20b X21b</p> <p>X31b X32b X33b X41c X42c</p> <p>【Y. 天文教育・他】(8)</p> <p>Y09b Y10b Y11b Y12b Y13c</p> <p>Y14c Y15c Y16c</p> <p>【PDL】</p> <p>【展示コーナー】</p>
--	---

Z1. データ科学としての天文学

9月14日(水) 午前・J会場		9月14日(水) 午後・J会場	
11:00	Z101r スパースモデリングとデータ駆動科学・(30) 岡田真人(東京大学)	15:00	Z113r スパースモデリングと天文データ解析・(24) 池田思朗(統計数理研究所)
11:30	Z102r 大規模高次元データ分析可視化の最新動向・(30) 藤代一成(慶應義塾大学)	15:24	Z114a スパースモデリングによる M87 中心核ジェットの超解像画像の復元・(12) 田崎文得(国立天文台)
12:00	Z103a 機械学習と統計学を活用したビッグデータ宇宙論・(12) 吉田直紀(東京大学)	15:36	Z115a Event Horizon Telescope による電波銀河 M87 のブラックホールシャドウと直線偏光の超解像イメージング・(12) 秋山和徳(MIT Haystack Observatory)
12:12	Z104a ベイズ推論に基づくスペクトルデータ解析手法の構築・(12) 村田伸(東京大学)	15:48	Z116a Tomo-e Gozen が拓く広視野動画観測による天文学・(12) 大澤亮(東京大学)
12:24	Z105a Development of the Estimation for a Multivariate Distribution Function and Its Applications to Multiwavelength Data Analysis・(12) 竹内努(名古屋大学)	16:00	Z117a スパース推定を用いた Tomo-e Gozen データ中の突発現象の選出・(12) 森井幹雄(統計数理研究所)
12:36	Z106b 太陽フレア発生予測のための太陽画像自動認識と機械学習の応用・(3) 西塚直人(情報通信研究機構)	16:12	Z118a スパースモデリングの天文学への応用: 変光星の周期解析・(12) 木邑真理子(京都大学)
12:36	Z107b コンピュータによる画像認識を利用した太陽表面子午面還流の検出・(3) 飯田佑輔(関西学院大学)	16:24	Z119a 行列分解を用いたセイファート銀河の X 線スペクトル変動の解析・(12) 海老沢研(宇宙航空研究開発機構)
12:36	Z108b データとして見る宇宙天気予報: 統計的予報評価・(3) 久保勇樹(情報通信研究機構)	16:36	Z120a 大規模数値計算による宇宙大規模構造の情報伝播構造の定量的理解・(12) 西道啓博(東京大学)
12:48	Z109b ブレーザーで観測される偏光の時間変動の 3 次元可視化・(3) 植村誠(広島大学)	16:48	Z121a 深層学習を用いたリアルタイム太陽フレア予測・(12) 村主崇行(理化学研究所)
12:48	Z110b スパースモデリングを用いた電波干渉計イメージング・(3) 本間希樹(国立天文台)		
12:48	Z111b 太陽型星の光度変動に対するマルコフ連鎖モンテカルロ法の適用・(3) 幾田佳(京都大学)		
12:48	Z112b 圧縮センシングのドップラートモグラフィへの応用・(3) 大島誠人(兵庫県立大学)		

Z2. 重力波初検出の意義と重力波天文学の幕開け

9月15日(木) 午前・J会場		9月15日(木) 午後・J会場	
09:30	Z201r GW150914 の観測・(20) 伊藤洋介 (東京大学)	13:30	Z212a 巨大ブラックホール起源と重力波観測・(15) 梅村雅之 (筑波大学)
09:50	Z202a 初代星連星起源の連星ブラックホール重力波・(9) 衣川智弥 (東京大学)	13:45	Z213a 星団内で形成したブラックホール連星による重力波放出のイベントレート・(9) 藤井通子 (東京大学)
09:59	Z203a eLISA による GW150914 類似連星ブラックホールの検出可能性・(9) 久徳浩太郎 (理化学研究所)	13:54	Z214a 重力波観測による巨大ブラックホール形成シナリオ解明の可能性・(9) 真貝寿明 (大阪工業大学)
10:08	Z204a スピンパラメータによる BH 連星形成シナリオの制限・(9) 高橋亘 (東京大学)	14:03	Z215a 銀河の金属量進化を考慮した連星ブラックホール合体からの背景重力波・(9) 中里健一郎 (九州大学)
10:17	Z205a Hilbert-Huang 変換を用いた GW150914 の解析・(9) 酒井一樹 (長岡技術科学大学)	14:12	Z216a 銀河形成と超大質量ブラックホールからの重力波・(9) 長島雅裕 (文教大学)
10:26	Z206a iKAGRA データ解析: 連星合体重力波パラメータ推定・(9) 成川達也 (大阪市立大学)	14:21	Z217r 重力波イベントに対するフォローアップ観測の可能性について・(20) 中村卓史 (京都大学)
10:35	Z207r 重力波シミュレーション・(15) 木内建太 (京都大学)	14:41	Z218a ブラックホール中性子星連星合体からの Kilonova/Macronova・(9) 川口恭平 (京都大学)
10:50	Z208a ブラックホール準固有振動と重力波・(9) 中野寛之 (京都大学)	14:50	Z219a J-GEM による LIGO 重力波源に対する電磁波フォローアップ観測・(15) 諸隈智貴 (東京大学)
10:59	Z209a ブラックホール地平面近傍における 2 次の計量摂動に対する境界条件・(9) 山田慧生 (京都大学)	15:05	Z220a CALET による重力波源の電磁波対応天体の探査・(9) 坂本貴紀 (青山学院大学)
11:08	Z210a 孤立した BH の質量, 自転角運動量と自転軸の見込み角を測定する方法: Kerr BH の重力レンズ効果・(9) 齋田浩見 (大同大学)	15:14	Z221a MAXI による重力波源からの X 線放射の探索・(9) 芹野素子 (理化学研究所)
11:17	Z211a 超大質量星の重力崩壊によるブラックホール形成に伴う重力波・(9) 関口雄一郎 (東邦大学)	15:23	Z222a Super-Kamiokande 検出器による重力波イベント GW150914 に付随するニュートリノの探索・(9) 織井安里 (東京大学)
		15:32	Z223b 重力波源天体の可視光分光フォローアップ観測・(3) 松林和也 (京都大学)

K. 超新星爆発

9月16日(金) 午前・J会場		9月16日(金) 午前・A会場	
09:30	Z224a 重力崩壊型超新星の時間軸天文学：マルチメッセンジャー追跡観測に向けて・(15) 固武慶(福岡大学)	09:30	K01a 重力崩壊型超新星の高解像度磁気流体シミュレーション 澤井秀朋(高度情報科学技術研究機構/早稲田大学)
09:45	Z225a 中性子星合体からのrプロセス元素放出と核崩壊加熱率・(9) 和南城伸也(上智大学)	09:42	K02a 回転する重力崩壊型超新星の2次元数値計算 中村航(早稲田大学)
09:54	Z226a 巨新星のX線再放射モデル・(9) 木坂将大(青山学院大学)	09:54	K03a マグネター駆動超新星における核反応の影響 増山美優(東京大学)
10:03	Z227a 超小型衛星で探る重力波同期X線突発天体・(9) 澤野達哉(金沢大学)	10:06	K04a 中心天体からのエネルギー注入のある超新星エジェクタの2次元特殊相対論的流体シミュレーション 鈴木昭宏(京都大学)
10:12	Z228a マグネターの巨大フレア時の重力波放出・(9) 小島康史(広島大学)	10:18	K05a 重力崩壊型超新星爆発エネルギーの親星モデル依存性 山本佑(早稲田大学)
10:21	Z229a 重力波源となるブラックホールのスピン進化とBZ機構・(9) 梅田秀之(東京大学)	10:30	K06a 停滞衝撃波の復活に必要な鉄コア外層の揺らぎの大きさの研究 高橋和也(東北大学)
10:30	Z230r 重力波望遠鏡の現状と展望・(20) 安東正樹(東京大学)	10:42	K07a Ib型超新星爆発の親星の多様性の起源 大内竜馬(京都大学)
10:50	Z231a 宇宙ひも起源の重力波・(9) 黒柳幸子(名古屋大学)	10:54	K08a IIP型超新星SN 2016Xの早期観測に基づく爆発直後の光球の進化 中岡竜也(広島大学)
10:59	Z232a 重力波源と銀河の相互相関を用いた宇宙の絶対距離測定・(9) 大栗真宗(東京大学)	11:06	K09a 衝撃波の非球対称性とshock breakoutの性質との関係性について 大谷友香理(国立天文台)
11:08	Z233a Pulsar Timing Arrayを用いた超低周波重力波の新しい検出手法・(9) 米丸直之(熊本大学)	11:18	K10a Gdを入れたSuper-KamiokandeとHyper-Kamiokandeによる超新星前兆ニュートリノの観測 吉田敬(東京大学)
11:17	Z234a Arrival time difference between gravitational-wave and electromagnetic signals due to gravitational lensing in general relativity・(9) 高橋龍一(弘前大学)	11:30	K11a 二重白色矮星連星の合体によるIa型超新星爆発と惑星状星雲Henize2-428の中心天体の最期 佐藤裕史(東京大学)
11:26	Z235a 地上の背景重力波観測における相関ノイズのインパクト・(9) 樽家篤史(京都大学)		

L. 太陽系

		9月14日(水) 午前・H会場
11:42	K12a	Ia型超新星における元素合成に対する新しいGT強度の影響 森寛治(東京大学/国立天文台)
11:54	K13a	光学的に厚い定常風を伴ったWolf-Rayet星モデル 仲内大翼(東北大学)
11:00	L01a	すばるHyper Suprime-Camによる木星トロヤ群サーベイ(1)観測・データ解析 寺居剛(国立天文台)
11:12	L02a	すばるHyper Suprime-Camによる木星トロヤ群サーベイ(2)サイズ頻度分布 吉田二美(国立天文台)
11:24	L03b	すばるHyper Suprime-Camによる木星トロヤ群サーベイ(3)ヒルダ群 寺居剛(国立天文台)
11:24	L04b	木星の偏光観測 池邊彩乃(兵庫県立大学)
11:24	L05b	可視近赤外背景放射の等方成分はオールト雲ダストによる太陽光の反射で説明できるか? 長島雅裕(文教大学)
11:36	L06a	「あかり」遠赤外線全天画像中の淡い小惑星ダストバンド構造 大坪貴文(東京大学)
11:48	L07a	流星群の地心速度が及ぼす放射点分布の広がりへの影響 土屋智恵(国立天文台)
	L08c	インドネシア皆既日食時の太陽ダストリング検出を目的とした地上及び航空機観測 高木悠平(国立天文台)
	L09c	OASES観測システムによるTNO恒星掩蔽モニタ観測 有松亘(国立天文台)
	L10c	地球近傍小天体(1566)Icarus・2007 MK ₆ の観測キャンペーン 浦川聖太郎(日本スペースガード協会)
	L11c	東北大学ハレアカラ観測所(ハワイ)における木星と火星の撮像観測 浅田正(九州国際大学)

M. 太陽

9月15日(木) 午前・G会場			
09:30	M01a	衝撃波・乱流の両効果を取り入れた新たな一次元コロナ・太陽風モデル 庄田宗人(東京大学)	10:42 M12b IBIS —「ひので」— IRIS 共同観測による磁束キャンセレーション領域の3次元磁場構造の理解 久保雅仁(国立天文台)
09:42	M02a	太陽風のData-driven modelingにおける加熱モデルと太陽風構造について 田光江(情報通信研究機構)	10:42 M13b 太陽フレア望遠鏡赤外ポラリメーターで観測したコロナホール 萩野正興(国立天文台)
09:54	M03a	IPS 観測から得られた太陽風速度とコロナホール面積の関係 徳丸宗利(名古屋大学)	10:42 M14b 太陽観測におけるシンチレーションモニタを使用した大気擾乱定量化 山本大二郎(茨城大学)
10:06	M04a	大規模画像データを用いた太陽コロナホールの生成・消滅過程の研究 加納大空(名古屋大学)	10:54 M15b Sunrise-3 気球実験による彩層の高解像度・高感度偏光分光観測 勝川行雄(国立天文台)
10:18	M05a	NICT 新太陽電波望遠鏡と宇宙天気予報 岩井一正(情報通信研究機構)	10:54 M16b 太陽用マイクロレンズ面分光データの解析について 末松芳法(国立天文台)
10:30	M06b	活動領域における磁気エネルギーのパワースペクトル解析 川畑佑典(東京大学)	10:54 M17b プラズモイド高速リコネクションにおける動的ペッチェック過程の役割 柴山拓也(名古屋大学)
10:30	M07b	飛騨 DST 偏光分光観測によるフレアリボンの He I 10830 Å 線の振る舞い 米谷拓朗(茨城大学)	11:06 M18b 非対称磁気リコネクションに関する新たな知見がもたらすもの 新田伸也(筑波技術大学)
10:30	M08b	太陽フレアデータと太陽地球圏環境への影響の関係に関する統計解析 西本将平(防衛大学校)	11:06 M19b 適合格子細分化法を用いた動的な太陽圏モデルの構築 松本倫明(法政大学)
	M09c	彩層分光観測で探る太陽フレアのエネルギー解放過程とダイナミクス 鄭祥子(京都大学)	11:06 M20b インヤン格子による太陽表面磁束輸送コードの開発 飯島陽久(名古屋大学)
	M10c	The estimation of CME speed and SEP flux associated with solar superflares Takuya Takahashi (Kyoto University)	11:18 M21b 京全ノードを用いた太陽対流層の超高解像度数値計算 堀田英之(千葉大学)
	M11c	The relationship between the spatio-time structure of flare two-ribbon and MHD Kelvin-Helmholtz instabilities in the flaring corona Takuya Takahashi (Kyoto University)	M22c 活動領域非線形フォースフリー磁場計算システムの開発2 塩田大幸(名古屋大学)

9月15日(木) 午後・G会場		9月16日(金) 午前・G会場	
13:30	M23a 太陽磁場観測を用いた差動回転及び子午面循環流の解析 藤山雅士(名古屋大学)	09:30	M33a Coronal MHD shock-prominence interaction Takuya Takahashi (Kyoto University)
13:42	M24a ひので極域磁場観測を用いた太陽極域自転速度測定 塩田大幸(名古屋大学)	09:42	M34a 太陽フレア予測のための特徴量の重要度と評価手法考察 西塚直人(情報通信研究機構)
13:54	M25a η 抑制効果を取り入れたMHD磁束輸送ダイナモ 市村千晃(東京大学)	09:54	M35a プラズマのための磁気流体力学 柴崎清登(太陽物理学研究所)
14:06	M26a 平均場モデルに基づいた2セル型太陽子午面流の研究 戸次宥人(東京大学)	10:06	M36a 太陽電波ゼブラパターンの統計的偏波特性-II 金田和鷹(東北大学)
14:18	M27a 磁場の効果を中心とした太陽オーバースhoot層の精密な調査 堀田英之(千葉大学)	10:18	M37a CLASP の高速分光観測で探る太陽彩層に偏在する高速伝播現象 久保雅仁(国立天文台)
14:30	M28a 次期太陽周期活動の予測に向けて 今田晋亮(名古屋大学)	10:30	M38a CLASP/SJによる太陽活動領域におけるライマンアルファ線の時間変動観測 石川真之介(宇宙航空研究開発機構)
14:42	M29a 京都大学飛騨天文台 SMART 望遠鏡 SDDI(新全面像速度場撮像装置)による観測 石井貴子(京都大学)	10:42	M39a ねじれた磁力線を伴う彩層ジェット of 3次元シミュレーション 飯島陽久(名古屋大学)
14:54	M30a 飛騨天文台 SMART 望遠鏡を用いた高速成分を伴うフィラメント活動現象の発生頻度解析 廣瀬公美(京都大学)	10:54	M40a 太陽ジェットの二段階加速の観測とその物理機構についての考察 坂上峻仁(京都大学)
15:06	M31a フィラメント噴出とそれに関連するフィラメントの特徴について 関大吉(京都大学)	11:06	M41a Various Chromospheric Heating Events in Emerging Flux Regions 鳥海森(国立天文台)
15:18	M32a 放射凝縮による太陽プロミネンス形成の3次元 MHD シミュレーション 金子岳史(東京大学)	11:18	M42a 次期太陽観測衛星計画 SOLAR-C : 科学目的の尖鋭化 原弘久(国立天文台)

N. 恒星

9月16日(金) 午後・G会場		9月14日(水) 午前・G会場	
13:30	M43a 東アジアにおけるキャリントンイベント記録の再検討 玉澤春史(京都大学)	11:00	N01a Wolf-Rayet 星 WR140 における低温プラズマの X 線変動調査 菅原泰晴(宇宙航空研究開発機構)
13:42	M44a X 線天文衛星「すざく」搭載広帯域全天モニター WAM による 2005 年から 2015 年までの太陽フレアの観測 矢部聖也(埼玉大学)	11:12	N02a XMM-Newton 衛星で検出されたスーパーフレア星候補天体 中村優美子(中央大学)
13:54	M45a 太陽の白色光フレアの統計的研究と太陽型星スーパーフレアとの比較 行方宏介(京都大学)	11:24	N03a 全天 X 線監視装置 MAXI を用いた星からの巨大フレアの統計的研究 佐々木亮(中央大学)
14:06	M46a 白色光フレアにおける白色光発光の起源についての検証 渡邊恭子(防衛大学校)	11:36	N04a 高い磁気活動を示す近傍の太陽型星のコロナ温度と Emission Measure の探査、及びスーパーフレア星との比較 野津湧太(京都大学)
14:18	M47a Quantitative estimation of the energy flux in a white light flare kernel observed by Hinode, IRIS, SDO, and RHESSI Kyoung-Sun Lee (NAOJ)	11:48	N05b すざく衛星によって発見された激しい光度変化を示す X 線天体の詳細解析 木下聖也(東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)
14:30	M48a Flux Eruption にともなう超高温プラズマの生成過程 坂尾太郎(宇宙航空研究開発機構)	11:48	N06b 高輝度赤色新星 M31 LRN 2015 の爆発前天体の観測的研究 廣地諄(広島大学)
14:42	M49a 太陽フレアにおける紫外線・X 線観測による非平衡プラズマの空間分布 川手朋子(宇宙航空研究開発機構)	12:00	N07a 恒星合体を基礎にした SN1987A の親星モデル; コアのヘリウム層と伴星の相互作用 漆畑貴樹(東京大学)
14:54	M50a デルタ型黒点を持つ四重極活動領域におけるフラックスロープの形成と放出 大井喜智(東京大学)	12:12	N08a Ia 型超新星の影響を受けた恒星の元素組成 野田和弘(東京大学)
15:06	M51a フレアの頻発する活動領域 NOAA12297 での磁気ヘリシティ入射の測定 長谷川隆祥(東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)	12:24	N09a 進化計算への応用を目指した質量座標系にもとづく星の平衡形状の導出 安武伸俊(千葉工業大学)
			N10c 北極星の脈動振幅の変動の共鳴仮説 石田俊人(兵庫県立大学)
		12:36	N11a 3次元モデルを用いた太陽型星の振動数についての考察 園井崇文(パリ天文台)
		12:48	N12a 星震学を用いた惑星をもつ巨星の質量推定 南雲暉(東京工業大学)

P1. 星・惑星形成

9月14日(水) 午後・G会場		9月14日(水) 午前・A会場	
15:00	N13a リチウム過剰な赤色巨星の発見と惑星飲み込み説の検証 國友正信(名古屋大学)	11:00	P101a 動き始めた BISTRO : JCMT 搭載サブミリ波偏波計 POL-2 を用いた星形成領域の網羅的観測の現状 古屋玲(徳島大学)
15:12	N14a 炭素過多 AGB 星周縁部で形成される炭素ダストのサイズの再評価 保田悠紀(北海道大学)	11:12	P102a Planck cold clumps の化学進化的位置づけ 立松健一(国立天文台)
15:24	N15a post-AGB 星の星周物質による分子吸収線の解析 松野允郁(総合研究大学院大学/国立天文台)	11:24	P103a OH 18 cm 線の吸収線で探る HCL2 領域における構造形成(2) 海老澤勇治(東京大学)
15:36	N16a 金属欠乏を示す post AGB 星 CC Lyr のスペクトル解析 青木和光(国立天文台)	11:36	P104a おうし座分子雲における低柱密度環境下での分子雲コアの検出 徳田一起(大阪府立大学)
15:48	N17a s-過程核種合成と炭素過剰金属欠乏(CEMP)星形成の統一的猫像(2) 山田志真子(北海道大学)	11:48	P105a W3 Main における分子ガス構造と星団形成との関係の解明2 齋藤弘雄(東京学芸大学)
16:00	N18b Mira 型変光星や OH/IR 星に代表される長周期変光星の VERA による位置天文観測 中川亜紀治(鹿児島大学)	12:00	P106a 野辺山 45m 望遠鏡を用いた低温大質量クランプに対する分子輝線サーベイ 酒井剛(電気通信大学)
16:00	N19b VERA によるミラ型変光星 T UMa の年周視差測定 大山まど薫(鹿児島大学)	12:12	P107a ALMA 望遠鏡による小マゼラン雲内の星形成初期段階領域 N83 の高分解能観測 本間愛彩(大阪府立大学)
16:00	N20b 食連星の光度曲線シミュレーション : 食連星における黒点の性質 高妻真次郎(中京大学)	12:24	P108a 大マゼラン雲における孤立した大質量原始星に付随する分子ガス観測(3) 原田遼平(大阪府立大学)
16:12	N21a 共生星 V407 Cyg の 2016 年極大期における中・低分散分光観測 内藤博之(なよろ市立天文台)	12:36	P109a First detection of an extragalactic hot molecular core with ALMA 下西隆(東北大学)
16:24	N22a すばる HDS によるろくぶんぎ座矮小銀河の重元素組成の解析 青木みさ(国際基督教大学)	12:48	P110a オリオン分子雲中の星形成直前の分子雲コアからの NH ₃ wing 成分の検出 大橋聡史(東京大学)
16:36	N23a すばる IRD による地球型惑星探査に向けた M 型星の特性決定 小泉陽平(東京工業大学)	13:00	P111a NGC 2264 CMM3 における ALMA を用いた高空間分解能観測 渡邊祥正(東京大学)

9月14日(水)午後・A会場			
15:00	P112a KaVA Large Program: Understanding high-mass star formation through KaVA observations of water and methanol masers 廣田朋也(国立天文台)	16:24	P122a Vertical Structure of the Transition Zone from Infalling Rotating Envelope to Disk in the Class 0 Protostar, IRAS04368+2557 坂井南美(理化学研究所)
15:12	P113a CORNISH H _{II} 領域を対象とした 6.7 GHz メタノールメーザー探査に基づく大質量星形成過程の研究 柴田裕輝(茨城大学)	16:36	P123a Synthetic Observations of Early Evolution of Protoplanetary Disks 富田賢吾(大阪大学)
15:24	P114b 日立 32-m 電波望遠鏡を用いた大規模な 6.7 GHz メタノール・メーザーモニターサーベイ: 1-2ヶ月周期天体の探査 杉山孝一郎(茨城大学)	16:48	P124a TW Hya の原始惑星系円盤に対する ALMA を用いた高分解能多周波観測 塚越崇(茨城大学)
15:24	P115b 大マゼラン雲におけるスーパーギャイアントシェル LMC4 内部の H _{II} 領域 N55 の ALMA による高分解能観測 高田勝太(大阪府立大学)	17:00	P125a ALMA, JVLA および Chandra による原始褐色矮星候補の同定 川邊良平(国立天文台)
15:24	P116b Unbiased Chemical Survey of Protostellar Sources in Perseus II 樋口あや(理化学研究所)	9月15日(木)午前・A会場	
15:36	P117a ALMA による低質量原始星天体 B335 の化学組成の研究 2 今井宗明(東京大学)	09:30	P126a 蛇遣い座領域の X 線放射原始星候補天体の多波長画像解析と物理特性調査 矢吹健(中央大学)
15:48	P118a 星形成領域 L1527 における H ₂ CO の重水素化物の観測 吉田健人(東京大学/理化学研究所)	09:42	P127a AKARI を用いた YSO candidates の氷吸収の観測・解析 木村智幸(東京大学)
16:00	P119a Class 0 原始星コア L483 の円盤形成領域における複雑な有機分子の検出 大屋瑤子(東京大学)	09:54	P128a 銀河系外縁部における星生成効率 泉奈都子(国立天文台)
	P120c Class 0 原始星天体 IRAS 16293-2422 Source B の回転構造の解析 大屋瑤子(東京大学)	10:06	P129a 銀河系外縁部における低金属量星生成領域 II. Sh 2-208 の近赤外深撮像 安井千香子(国立天文台)
16:12	P121a JVLA による原始星 VLA1623 の 0.1 秒角高分解能観測 西合一矢(大阪府立大学)	10:18	P130a Vela C 分子雲の磁場構造 楠根貴成(名古屋市立大学)
		10:30	P131a 衝撃波圧縮により形成されるフィラメント分子雲の構造 岩崎一成(同志社大学)
		10:42	P132a 磁場に貫かれたフィラメント状分子雲の不安定性 工藤哲洋(長崎大学)

		9月15日(木)午後・A会場
10:54	P133b 赤外線暗黒星雲“ネッシー”星雲の近赤外線偏光観測 杉谷光司(名古屋市立大学)	13:30 P142a 降着エンベロープからケプラー円盤への遷移 花輪知幸(千葉大学)
10:54	P134b S106領域の近赤外広域測光探査観測 大朝由美子(埼玉大学)	13:42 P143a アウトフローと回転円盤の整列・不整列 松本倫明(法政大学)
10:54	P135b 高銀緯分子雲MBM01,02,03,32における深い可視分光探査観測 平塚雄一郎(埼玉大学)	13:54 P144a 大質量降着率における原始星からの磁気アウトフローの駆動条件 松下祐子(九州大学)
11:06	P136b ブライトリム分子雲の可視分光探査 細谷謙介(兵庫県立大学)	14:06 P145a 1: A Fast Accurate Numerical Scheme for Radiation Hydrodynamics: Formation of Low Mass Protostars Torsten Stamer (Nagoya University)
11:06	P137b V409 Tauの可視分光モニター観測 秋本妃奈子(兵庫県立大学)	14:18 P146a 流体力学シミュレーションにおける高速自己重力計算手法の提案 平井遼介(早稲田大学)
11:06	P138b 原始惑星系円盤内縁付近からX線アウトフローが出現する可能性についての理論的考察 高棹真介(名古屋大学)	14:30 P147a 宇宙の進化と星形成過程の変遷 樋口公紀(九州大学)
11:18	P139b 原始惑星系円盤の光蒸発 仲谷峻平(東京大学)	14:42 P148a 宇宙論的環境下における超大質量星形成シミュレーション 鄭昇明(東京大学)
11:18	P140b 大質量星形成における輻射フィードバックの金属度・降着率依存性 福島肇(京都大学)	14:54 P149a 金属欠乏星は形成時から金属を持っていたか 千秋元(甲南大学)
11:18	P141b 初代星の降着成長は星の自転によって妨げられるか? 高橋実道(東北大学)	15:06 P150a 超大質量星が重力崩壊する際に起きる核融合反応の効果について 打田晴輝(京都大学)

P2. 星・惑星形成

9月15日(木) 午後・B会場			
13:30	P201a DG Tau に付随する原始惑星系円盤のミリ波ダスト連続波高解像度観測 百瀬宗武 (茨城大学)	15:30	P212b プレアデス星団メンバー星 HII 3441 に付随する褐色矮星質量伴星の発見 小西美穂子 (国立天文台)
13:42	P202a Near-Infrared Imaging Polarimetry of Inner Region of GG Tau A Disk Yi Yang (The Graduate University for Advanced Studies(SOKENDAI))	15:30	P213b Habitability around Magnetically Active and Low Mass Stars 大石碧 (防衛大学校)
13:54	P203a 赤外線天文衛星「あかり」で検出したデブリ円盤のすばる望遠鏡/COMICSによる分光追観測 渡邊華 (名古屋大学)		P214c ガイアンボトルネックを考慮した原始的生命を保持する惑星数評価 釜谷秀幸 (防衛大学校)
14:06	P204a 質量降着を利用した非常に若い惑星の直接撮像探査 鵜山太智 (東京大学)		P215c K2 Exoplanets and Follow-up with Spitzer and Ground-based Telescopes John Livingston (University of Tokyo)
14:18	P205a アstrometry法と直接撮像法の二重検出による惑星質量決定 山口正輝 (東京大学)	9月16日(金) 午前・B会場	
14:30	P206a すばる望遠鏡/HDSを用いたヨードセル法での視線速度測定精度の検証 長谷川椋 (東京工業大学)	09:30	P216a Water deuteration as a probe of the origin of H ₂ O in protoplanetary disks 古家健次 (筑波大学)
14:42	P207a すばる IRD による M 型矮星周りの地球型惑星探索 III: 事前観測 大宮正士 (国立天文台)	09:42	P217a 磁場駆動円盤風を考慮した原始惑星系円盤の進化 鈴木建 (東京大学)
14:54	P208a 岡山 188cm 望遠鏡/MuSCAT によるハビタブル惑星候補 K2-3d のトランジット観測 福井暁彦 (国立天文台)	09:54	P218a 中心星の照射を受ける原始惑星系円盤における重力乱流 廣瀬重信 (国立研究開発法人海洋研究開発機構)
15:06	P209a K2-ESRPINT プロジェクトによるトランジット系外惑星探査: 特徴的な惑星系の報告と将来展望 平野照幸 (東京工業大学)	10:06	P219a 原始惑星系円盤でのガスとダストの相互作用による不安定性の3次元数値シミュレーション 大西勇武 (九州大学)
15:18	P210a ケプラー測光データを用いた長周期惑星のリング探査 II 逢澤正嵩 (東京大学)	10:18	P220a 永年重力不安定性の非線形発展 1: 高精度数値計算法の開発 富永遼佑 (名古屋大学)
15:30	P211b ALMA 望遠鏡を用いたデブリ円盤のCO観測 樋口あや (理化学研究所)	10:30	P221a 原始惑星系円盤のギャップ構造と惑星質量の関係: 観測への応用 金川和弘 (シュチェチン大学)
		10:42	P222a 原始惑星系円盤の理論モデルの観測予想と円盤年齢の見積もり 村川幸史 (大阪産業大学)

		9月16日(金) 午後・B会場	
10:54	P223a GG Tau に付随する周連星円盤におけるダストの性質 田崎亮 (京都大学)	13:30	P232a 微惑星形成過程解明のための乱流の大規模直接数値計算と粒子追跡 小林直樹 (名古屋大学)
11:06	P224b 非定常電離度進化を考慮した原始惑星円盤のグローバルシミュレーション 藤井悠里 (ニールス・ボーア研究所)	13:42	P233a 乱流の直接数値計算を用いた原始惑星系円盤ダストの衝突付着成長シミュレーション 濱端航平 (名古屋大学)
	P225c 原始惑星系円盤における宇宙線陽子の伝播 藤井悠里 (ニールス・ボーア研究所)	13:54	P234a 微惑星衝突破壊・合体の高解像度数値シミュレーションに向けて :FDPS を用いた弾性体ゴドノフ SPH 法の高速度化 杉浦圭祐 (名古屋大学)
11:06	P226b ロスビー波不安定性による密度バンブ構造の非線形進化 小野智弘 (京都大学)	14:06	P235a 円盤風によって進化するガス円盤中での固体惑星集積 萩原正博 (国立天文台)
11:06	P227b 原始惑星系円盤中における惑星大気への円盤ガスの流入と大気流出 黒川宏之 (東京工業大学)	14:18	P236a 衝突成長に伴う惑星・衛星の組成進化 小林浩 (名古屋大学)
	P228c 1次元放射流体計算による集積期原始巨大ガス惑星からの水素輝線強度の推定輝線吸収の影響 青山雄彦 (東京大学)	14:30	P237a 系外惑星の大気透過スペクトルの多様性の解明:ヘイズ粒子の生成・成長・沈降の効果 川島由依 (東京大学)
11:18	P229b 磁気流体波動の散逸による巨大ガス惑星の大気構造および質量放出率の時間変動性 田中佑希 (国立天文台)	14:42	P238a ハビタブルゾーンに存在する海惑星の表層環境:高圧氷と炭素循環 中山陽史 (東京大学)
11:18	P230b 高速回転する系外惑星の構造とその進化 藤澤幸太郎 (早稲田大学)		
11:18	P231b SMILES-2 衛星を想定した太陽系地球型惑星のサブミリ/THz 帯放射輸送シミュレーション 西田侑治 (大阪府立大学)		

Q. 星間現象

9月14日(水) 午前・D会場			
11:00	Q01a	MAXI/SSCによる銀河中心周辺の拡散X線放射の観測2 中平聡志(宇宙航空研究開発機構)	12:48 Q13b ブライトリム分子雲の赤外線の色 伊藤洋一(兵庫県立大学)
11:12	Q02a	銀河系核周円盤周辺のHCNサブミリ波輝線イメージング 竹川俊也(慶應義塾大学)	12:48 Q14b 星間化学シミュレーションのための疎行列演算手法の開発 本山一隆(総合研究大学院大学)
11:24	Q03a	ALMA reveals a hub of filamentary molecular clouds in Sgr B2(N) Tetsuo Hasegawa (NAOJ)	12:48 Q15b Kelvin-Helmholtz不安定性による星間雲内部乱流の駆動 岩崎一成(同志社大学)
	Q04c	バー効果を考慮した銀河ガス円盤の磁気流体数値実験 町田真美(九州大学)	9月14日(水) 午後・D会場
11:36	Q05a	ALMAによる高速度コンパクト雲CO-0.40-0.22の高分解能イメージング 岡朋治(慶應義塾大学)	15:00 Q16a Spitzer/IRSスペクトルマッピング観測によって明らかにするM17SW領域におけるPAH物理状態の空間変化 山岸光義(宇宙航空研究開発機構)
11:48	Q06a	銀河系中心50km/s分子雲でのフィラメント構造の同定 上原顕太(東京大学)	15:12 Q17a ストカスティック加熱モデルに基づくダスト放射コード開発とAKARI FISデータを用いたダストマップ作成 梨本真志(東北大学)
12:00	Q07a	高速度コンパクト雲自動同定アルゴリズムの開発と統計的解析 徳山碩斗(慶應義塾大学)	15:24 Q18a An All-sky Look at the AME: Comparing the new AKARI/IRC Maps With IRAS and Planck Data Aaron C. Bell (University of Tokyo)
12:12	Q08a	R136に付随する水素原子ガスの観測的研究 柘植紀節(名古屋大学)	15:36 Q19a 国際宇宙ステーション「きぼう」利用簡易曝露実験装置ExHAMを利用した炭素質ダストの宇宙環境曝露実験(2) 左近樹(東京大学)
12:24	Q09a	FUGINサーベイの結果を利用した鹿児島大学野辺山アンモニアサーベイの現状 半田利弘(鹿児島大学)	15:48 Q20a 近赤外線高分散分光器WINEREDによる微弱なDIBの探査 濱野哲史(京都産業大学)
12:36	Q10b	巨大分子雲の進化における分子雲衝突の役割 島和宏(北海道大学)	16:00 Q21a グリシン前駆体、CH ₂ NHの形成過程 鈴木大輝(総合研究大学院大学)
12:36	Q11b	VERAによる銀河系外縁部HII領域IRAS 21306+5540の年周視差計測 手塚大介(鹿児島大学)	16:12 Q22a フェルミバブル周辺における高温プラズマのX線系統探査 秋田誠博(早稲田大学)
12:36	Q12b	銀河系外縁部分子雲衝突の観測的研究-VERAによる距離測定とFCRAO-14mによる分子雲の解析- 小出凧人(鹿児島大学)	16:24 Q23a X線天文衛星すざくによる銀河系高温ガスハローの空間分布測定 中島真也(宇宙航空研究開発機構)
			16:36 Q24a パルサー星雲における二次フェルミ加速モデル 田中周太(甲南大学)

16:48	Q25a 広がった TeV ガンマ線源 VER J2019+368 の X 線観測 田中慎之 (広島大学)	11:18	Q37a スーパーバブル 30 Doradus C に付随するガス雲 山根悠望子 (名古屋大学)
17:00	Q26a フェルミ衛星 LAT 検出器による MBM 53, 54,55 および Pegasus Loop 領域の観測 水野恒史 (広島大学)	9 月 15 日 (木) 午後・D 会場	
9 月 15 日 (木) 午前・D 会場		13:30	Q38a 超新星残骸における宇宙線の垂直衝撃波加速と knee 領域加速問題 高本亮 (東京大学)
09:30	Q27a Direct Ejecta Velocity Measurements of Tycho's Supernova Remnant Toshiki Sato (Tokyo Metropolitan University)	13:42	Q39a 衝撃波で加速された宇宙線スペクトルのカットオフの形について 山崎了 (青山学院大学)
09:42	Q28a 「すざく」によるガンマ線超新星残骸 G298.6-0.0 および G32.8-0.1 の観測 馬場彩 (東京大学)	13:54	Q40a 超新星残骸 W44 分子雲中に発見された超高速成分の数値流体計算 野村真理子 (慶應義塾大学)
09:54	Q29a 「すざく」による GeV ガンマ線超新星残骸 HB 21 の X 線観測 鈴木寛大 (東京大学)	14:06	Q41a パルサー星雲放射の空間構造 石崎渉 (東京大学)
10:06	Q30a 「すざく」による超新星残骸 G306.3-0.9 からの鉄 K 輝線の発見 澤田真理 (青山学院大学)	14:18	Q42a Molecular clouds toward the Spitzer bubble S150; possible evidence for a second Spitzer bubble formed by cloud-cloud collision 服部有祐 (名古屋大学)
	Q31c 特異な構造を持つ超新星残骸 G166.0+4.3 からの過電離プラズマの発見 松村英晃 (京都大学)	14:30	Q43a オリオン座分子雲領域におけるダスト進化を考慮した星間水素の精密定量 山本宏昭 (名古屋大学)
10:18	Q32a X 線天文衛星「すざく」による超新星残骸 W28 の北東部の観測 尾近洗行 (京都大学)	14:42	Q44a 全天にわたる中間速度 HI 雲の解析 II 古賀真沙子 (名古屋大学)
10:30	Q33a 「KWFC」H α 測光観測による超新星残骸 G156.2+5.7 の膨張率測定 勝田哲 (中央大学)	14:54	Q45a ペルセウス分子雲領域におけるダスト進化を考慮した星間水素の精密定量 岡本竜治 (名古屋大学)
10:42	Q34a 超新星残骸 RCW 86 における TeV ガンマ線の起源 佐野栄俊 (名古屋大学)	15:06	Q46a 電波連続波源による中性水素 21cm スペクトルの光学的深さ測定の問題 福井康雄 (名古屋大学)
10:54	Q35a 超新星残骸 Cassiopeia A に付随する分子雲と原子雲 稲葉哲大 (名古屋大学)	15:18	Q47a 21cm 線スペクトルを使った中性水素原子の定量:数値シミュレーションとの比較 2 早川貴敬 (名古屋大学)
11:06	Q36a CO, HCO ⁺ 回転遷移輝線による SNR W44 超高速成分の観測的研究 (II) 山田真也 (慶應義塾大学)	15:30	Q48a フィラメント状中性水素雲と星間磁場方向の強い相関の起源 井上剛志 (国立天文台)

R. 銀河

9月16日(金) 午前・D会場		9月14日(水) 午前・C会場	
09:30	Q49a NRO 銀河面サーベイプロジェクト (FUGIN): 2015 年度進捗 梅本智文 (国立天文台)	11:00	R01a Spatially-resolved SED and CO SLED of the merging LIRG NGC 1614 齊藤俊貴 (東京大学 / 国立天文台)
09:42	Q50a NRO 銀河面サーベイプロジェクト (FUGIN): Spitzer バブル N18 における分子雲衝突と大質量星形成 鳥居和史 (国立天文台)	11:12	R02a Physical conditions in the nuclear region of NGC 1614 revealed with ALMA 安藤未彩希 (総合研究大学院大学 / 国立天文台)
09:54	Q51a NRO 銀河面サーベイプロジェクト (FUGIN): 大質量星形成領域 W33 の CO 輝線観測 II 河野樹人 (名古屋大学)	11:24	R03a Ionized gas properties in the starburst region of NGC 253 uncovered by ALMA high spatial resolution millimeter observations 中西康一郎 (国立天文台)
10:06	Q52a NRO 銀河面サーベイプロジェクト (FUGIN): 超新星残骸に付随する星間ガスに関する研究 栗木美香 (筑波大学)	11:36	R04a 5pc 分解能で見た近傍星形成銀河 NGC253 中心部の星形成活動の多様性 安藤亮 (東京大学)
		11:48	R05a 衝突後期段階銀河 NGC 3256 の ALMA Band3 分子輝線探査 道山知成 (総合研究大学院大学 / 国立天文台)
		12:00	R06a Circumnuclear gas torus and star-forming regions in the starburst galaxy NGC 1808 imaged by ALMA Dragan Salak (Kwansei Gakuin University)
		12:12	R07a Pc-scale observations of the circumnuclear molecular disk of Centaurus A Daniel Espada (NAOJ)
		12:24	R08a ALMA による近傍銀河 NGC 613 中心領域の多輝線観測 宮本祐介 (国立天文台)
			R09c フェルミ衛星によるスターバースト銀河からのガンマ線探査 吉田麻佑 (東海大学)
		12:36	R10b 野辺山と ASTE による近傍高光度赤外線銀河の CO 分子観測 山下拓時 (宇宙航空研究開発機構)
		12:36	R11b 遷音速銀河風モデルによる星形成率と銀河風速度の関係 五十嵐朱夏 (筑波大学)

12:36	R12b	Search for molecular gas in XUV disk of M83 Kana Morokuma (NAOJ)	16:36	R23a	銀河磁場解析における QU-fitting の性能評価 宮下恭光 (熊本大学)
12:48	R13a	最小スケールからの階層的構造形成とサブハロー 石山智明 (千葉大学)	16:48	R24a	重力レンズ効果を受けた銀河の像復元アルゴリズム (GLEAN) の開発 (1): CLEAN 的像復元機能の実装 石田剛 (東京大学)
9 月 14 日 (水) 午後・C 会場			R25c	「あかり」近・中間赤外線カメラによる、冷却用ヘリウム枯渇後の指向撮像観測データの公開 山下拓時 (宇宙航空研究開発機構)	
15:00	R14a	星とガスの金属量で探る矮小銀河のガス流出過程 本間英智 (国立天文台)	9 月 15 日 (木) 午前・C 会場		
15:12	R15a	M31 North-Western ストリームの母矮小銀河の軌道探査 桐原崇亘 (筑波大学)	09:30	R26a	スイング増幅による渦状腕構造の形成とエピサイクル運動の位相同期 道越秀吾 (筑波大学)
15:24	R16a	銀河の力学進化から探る超金属欠乏星の γ プロセス元素組成 平居悠 (東京大学)	09:42	R27b	APOGEE red-clump star の解析から明らかになった銀河系円盤の化学動力学進化 豊内大輔 (東北大学)
15:36	R17a	中性子星合体による γ プロセスに基づくサブハローの確率的化学進化 石丸友里 (国際基督教大学)	09:42	R28b	COSMOS 領域における中間赤方偏移 $H\beta$ [OIII] 輝線天体サーベイ 西塚拓馬 (東北大学)
15:48	R18a	Far Distance to G7.47+0.06 from Proper Motion Measurement of H_2O Masers 山内彩 (日本学術振興会 / 国立天文台)	09:42	R29b	近赤外線における銀河系内拡散光の銀緯依存性の発見 佐野圭 (東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)
16:00	R19a	銀河系中心領域に存在する young, intermediate-age stars の起源の探査 岩松篤史 (東北大学)	09:54	R30a	NRO レガシープロジェクト COMING (7): プロジェクトの進捗状況報告 徂徠和夫 (北海道大学)
	R20c	銀河中心部の大質量天体と球状星団系の性質の関係 II. 銀河中心核星団 隈井泰樹 (熊本学園大学)	10:06	R31a	NRO レガシープロジェクト COMING (8): 棒渦巻銀河 NGC 2903 における分子ガス密度と星形成効率の関係 村岡和幸 (大阪府立大学)
16:12	R21a	巨大ブラックホールによる中心核バルジ進化と小型 JASMINE による観測 矢野太平 (国立天文台)	10:18	R32b	NRO レガシープロジェクト COMING(9): 棒渦巻銀河 NGC 4088 における分子ガスの分布と運動 田中隆広 (筑波大学)
16:24	R22a	Supermassive Black Hole Mass Estimation using Molecular Gas Dynamics Kyoko Onishi (SOKENDAI)			

S. 活動銀河核

9月14日(水) 午前・B会場			
11:00	S01a	ARTIST コードによるブラックホール時空での一般相対論的輻射輸送シミュレーション 高橋芳太(国立高専機構苫小牧高専)	15:24 S12a ALMA サブミリ波偏波観測で探る Centaurus A の質量降着流 永井洋(国立天文台)
11:12	S02a	ALMA による銀河系中心ミニスパイラルの観測 坪井昌人(宇宙航空研究開発機構)	15:36 S13a ALMA による近傍 AGN NGC1068 のトーラスに付随する分子ガスの検出 今西昌俊(国立天文台)
11:24	S03a	Swift 衛星の硬 X 線サーベイデータに基づくブレーザーの logN-logS 分布の構築 戸田皓陽(広島大学)	15:48 S14a SDSS の Stripe 82 領域のクエーサーの変光観測 和田一馬(京都大学)
11:36	S04a	GeV - TeV ガンマ線データによる HBL 天体の平均 SED と TeV ガンマ線背景放射の赤方偏移分布 田中康之(広島大学)	16:00 S15a クエーサー紫外 - 可視域スペクトル中の偏光成分と変光成分の関係 小久保充(東京大学)
11:48	S05a	相対論的ジェットのガンマ線発生領域は磁場優勢? 物質優勢? -Fermi-LAT、NuSTAR によるブレーザー観測から - 林田将明(東京大学)	16:12 S16a COSMOS 領域における高光度赤外線銀河の遠赤外線光度と活動銀河核光度の関係 松岡健太(京都大学)
12:00	S06a	位置天文で探るブレーザー Mrk 501 のジェット軸から外れた構造の起源 小山翔子(Max-Planck-Institut für Radioastronomie)	16:24 S17b 近傍電波銀河 NGC 1052 の HCN J=1-0 吸収線インフロー 澤田 - 佐藤聡子(茨城大学)
12:12	S07a	電波銀河 3C84 のシェルにおけるガンマ線、宇宙線生成について 紀基樹(KASI)	16:24 S18b ALMA を用いたサブミリ波帯水素再結合線観測による活動銀河核広輝線領域の探査可能性の検討 泉拓磨(東京大学)
12:24	S08a	Mass Loading Efficiency and Particle Acceleration Efficiency of Relativistic Jets: Cases For Low Luminosity BL Lacs 井上芳幸(宇宙航空研究開発機構)	16:24 S19b 全天 X 線監視装置 MAXI と赤外線天文衛星「あかり」による近傍活動銀河核の X 線・赤外線診断 磯部直樹(東京工業大学)
12:36	S09a	AGN ジェットの進化と FRI/II 分類について 藤田裕(大阪大学)	16:36 S20b モンテカルロ輻射輸送計算によるクランピートーラスからの X 線スペクトルモデルの作成 谷本敦(京都大学)
9月14日(水) 午後・B会場			
15:00	S10a	日韓共同ミリ波帯 VLBI 観測による 3C 84 のサブパーセクスケール吸収円盤の発見 輪島清昭(韓国天文研究院)	16:36 S21b 可視光短時間光度変動を用いた低質量銀河中心ブラックホール探査 諸隈智貴(東京大学)
15:12	S11a	パーセクスケール電波ローブの非対称性から探る 3C84 の中心核構造 川勝望(呉工業高等専門学校)	16:36 S22b セイファート 1 型銀河の広帯域 X 線スペクトル変動に対する統一的な解釈 楠絵莉子(東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)

T. 銀河団

9月15日(木) 午前・B会場		9月14日(水) 午前・F会場	
09:30	S23a X線スペクトル変動解析によるNGC 4051のアウトフロー構造の制限 水本岬希(宇宙航空研究開発機構/東京大学)	11:00	T01a LoCuSS: Weak-lensing mass calibration of galaxy clusters 岡部信広(広島大学)
09:42	S24a 活動銀河核アウトフローによる星間ガスへのフィードバックの磁気流体計算 朝比奈雄太(国立天文台)	11:12	T02a Subaru/HSC サーベイ領域にある重量級銀河団のX線観測による質量推定 宮岡敬太(広島大学)
09:54	S25a ブラックホール降着円盤周辺に存在する層雲の安定性 板西佑介(大阪教育大学)	11:24	T03a 衝突初期の銀河団に付随する衝撃波と広がった電波放射の発見 Hiroki Akamatsu (SRON)
10:06	S26a 超高光度赤外線銀河 UGC 5101 の広帯域X線スペクトル解析 小田紗映子(京都大学)	11:36	T04a すざく衛星による銀河団 RXC J1053.7+5453 の温度測定 板花まどか(山形大学)
10:18	S27a 硬X線(> 10 keV) 選択された適度に吸収を受けた活動銀河核の「すざく」による広帯域X線スペクトルの系統的解析 川室太希(京都大学)	11:48	T05b 銀河団 CIZA J2242.8+5301 中の電波レリックの乱流加速モデル 藤田裕(大阪大学)
10:30	S28a 「すざく」衛星による宇宙エックス線背景放射の軟ガンマ線観測 寺田幸功(埼玉大学)	11:48	T06b すざくによる Triangulum Australis 銀河団の広帯域X線観測 鷹箸颯太(山形大学)
10:42	S29a IC4329Aにおける時間変動を用いたモデル依存しない成分分解(3) 三宅克馬(東京大学)	12:00	T07a 「ひとみ(ASTRO-H)」SXSによるペルセウス座銀河団中心部の乱流速度 松下恭子(東京理科大学)
10:54	S30a 挟輝線1型セイファート銀河 NGC 4051 のX線スペクトル時間変動解析 清野愛海(東京大学)	12:12	T08a 「ひとみ」で測定されたペルセウス座銀河団のX線乱流速度の解釈 牧島一夫(理化学研究所)
		12:24	T09a ペルセウス座銀河団における高温ガスの乱流による共鳴散乱の評価 古川愛生(東京理科大学)
		12:36	T10a 「ひとみ(ASTRO-H)」SXSによるペルセウス座銀河団中心部の共鳴散乱 佐藤浩介(東京理科大学)
		12:48	T11a Geant4を用いた楕円銀河中心における共鳴散乱の影響の評価 寺前拓人(広島大学)

U. 宇宙論

9月14日(水) 午前・E会場		9月14日(水) 午後・E会場	
11:00	U01a 粒子の質量と電磁気の質量の統一 小堀しづ	15:00	U12a 弱重力レンズ効果による超ボイドの重力的撮像 井上開輝 (近畿大学)
11:12	U02a CMB 観測を用いたスカラーテンソル理論への制限 大場淳平 (名古屋大学)	15:12	U13a 弱重力レンズ効果とスニヤエフ・ゼルドビッチ効果の併用による銀河団質量精密測定に向けて: 数値シミュレーションを用いた模擬解析 白崎正人 (国立天文台)
11:24	U03a Oscillations in the CMB angular power spectra at $l = 120$ 堀口晃一郎 (名古屋大学)	15:24	U14a アンドロメダ銀河の広視野深探索観測による原始ブラックホール探索 新倉広子 (東京大学)
11:36	U04a POLARBEAR 実験による重力レンズ起源 B モード偏光観測の最新結果と将来計画 茅根裕司 (カリフォルニア大学バークレー校)		
11:48	U05a BICEP2/Keck Array Results VIII: 重力レンズ効果の検出 並河俊弥 (Stanford University)		
12:00	U06a 21cm-galaxy(LAE) cross-correlation を用いた宇宙再電離期の観測 久保田賢志 (熊本大学)		
12:12	U07a 赤方偏移空間における3点統計の理論モデルの検証 橋本一彦 (京都大学)		
12:24	U08a 赤方偏移空間における銀河分布からのダークマターハローのパワースペクトルの再構築 奥村哲平 (東京大学)		
12:36	U09a H0LiCOW: H_0 Lenses in COSMOGRAIL's Wellspring - Analysis of the Time-Delay Lensed Quasar HE 0435-1223 Kenneth Wong (NAOJ)		
12:48	U10b 全天重力レンズマップの作成2 高橋龍一 (弘前大学)		
12:48	U11b 原初超巨大ブラックホールと銀河の活動性 中道晶香 (京都産業大学)		

V1. 観測機器

9月15日(木) 午前・C会場		9月15日(木) 午後・C会場	
10:18	V101b 野辺山 45m 電波望遠鏡搭載に向けた90/150-GHz 帯 MKID カメラの開発 新田冬夢 (筑波大学)	13:30	V115a ALMA の運用 (9) と拡張計画 (3) 井口聖 (国立天文台)
10:18	V102b 1.85m 電波望遠鏡プロジェクトの開発 進捗 (IX) 大西利和 (大阪府立大学)	13:42	V116a ALMA-Cycle4 における太陽観測 下条圭美 (国立天文台)
10:30	V103a 野辺山 45m 電波望遠鏡の観測効率向上 南谷哲宏 (国立天文台)	13:54	V117a ALMA パイプラインの現状 5Cycle3 の運 用状況と Cycle4 からの運用へ向けて 三浦理絵 (国立天文台)
10:42	V104a 南極 10m テラヘルツ望遠鏡計画 : 建 設場所 中井直正 (筑波大学)	14:06	V118a ALMA サイクル 4 に向けた単一鏡デー タ解析パイプラインの開発 杉本香菜子 (国立天文台)
10:54	V105b 南極 10m テラヘルツ望遠鏡ヘテロダイ ン受信機系の基本設計 瀬田益道 (関西学院大学)	14:18	V119a データ解析ライブラリ Sakura の開発 (2) 川崎渉 (国立天文台)
10:54	V106b 南極 10 m テラヘルツ望遠鏡搭載用超 伝導電波カメラの機械熱設計 村山洋佑 (筑波大学)	14:30	V120a ALMA Band 2+3, 7+8 超広帯域受信機 コンポーネントの開発 長谷川豊 (大阪府立大学)
10:54	V107b 相反とは限らないアンテナの送受信特 性の定式化 永井誠 (筑波大学)	14:42	V121a 275-500 GHz 帯導波管型 SIS ミクサ の設計 小嶋崇文 (国立天文台)
	V108c 南極30m テラヘルツ望遠鏡計画 久野成夫 (筑波大学)	14:54	V122b マルチバンド型受信機用 450 GHz 帯 導波管型周波数分波器の開発 小嶋崇文 (国立天文台)
11:06	V109b 1.9 THz 帯ホーン / 導波路型 NbTiN- HEB ミクサ検出素子の開発 齊藤滉介 (大阪府立大学)	14:54	V123b 高臨界電流密度 SIS 接合を用いた Band8 ミクサの性能向上 上水和典 (国立天文台)
11:06	V110b 高萩 / 日立 32 m 電波望遠鏡の整備 状況 (14) 米倉覚則 (茨城大学)	14:54	V124b Current Status of ALMA Quality Assurance (AQUA) System 1 Eiji Akiyama (NAOJ)
11:06	V111b 水沢 10m 電波望遠鏡の Nano-JASMINE 衛星ダウンリンク局としての性能向上 亀谷收 (国立天文台)	15:06	V125a ASTE 搭載用多色連続波カメラの開発: (6) 科学評価活動 田村陽一 (東京大学)
11:18	V112b JAXA GREAT54m アンテナ用 32GHz 帯低雑音受信機の開発 坪井昌人 (宇宙航空研究開発機構)	15:18	V126b ASTE 搭載用多色連続波カメラの開発: (8) フラックス強度校正 石井峻 (東京大学)
11:18	V113b 太陽観測に向けたミリ波単一鏡の性 能測定方法の確立 岩井一正 (情報通信研究機構)	15:18	V127b ASTE 搭載用多色連続波カメラの開発: (9) キャリブレーション装置の開発 大田原一成 (国立天文台)
	V114c JAXA における深宇宙探査用大型アン テナの開発とその天文利用 村田泰宏 (宇宙航空研究開発機構)		

15:18	V128b ASTE 望遠鏡多色連続波カメラの開発 (10) : スキャンパターンの最適化と評価 山口正行 (東京大学 / 国立天文台)	10:18	V140b ABCD 行列を用いた LiteBIRD 水口ドラゴン光学系の更なる広視野化 鹿島伸悟 (国立天文台)
15:30	V129b ASTE 搭載用多色連続波カメラの開発: (11) 読み出し回路の改良 鈴木駿汰 (大阪府立大学)	10:30	V141a CMB 偏光観測衛星 LiteBIRD フェーズA1 に向けて 関本裕太郎 (国立天文台)
15:30	V130b テラヘルツ光子計型検出器の基礎開発 江澤元 (国立天文台)	10:42	V142a CMB 偏光観測衛星 LiteBIRD における系統誤差の研究 VIII 永田竜 (高エネルギー加速器研究機構)
15:30	V131b 光子計数型 SIS 検出器のための 0.8K 冷凍器の評価 川村祐太 (総合研究大学院大学)	9 月 16 日 (金) 午後・C 会場	
9 月 16 日 (金) 午前・C 会場		13:30	V143a きゃらばん・サブミリと VLBI データ校正の確認法 II 三好真 (国立天文台)
09:30	V132a NASCO (NANTEN2 Super CO Survey as Legacy) の概要と進捗報告 大浜晶生 (名古屋大学)	13:42	V144a 山口干渉計の構築 藤沢健太 (山口大学)
09:42	V133a NANTEN2 マルチビーム光学系とミラーの開発 加藤千晴 (名古屋大学)	13:54	V145a 広帯域フィードの開発 (XI) 氏原秀樹 (情報通信研究機構)
09:54	V134b CO 分子輝線観測のための 109-117 GHz 集積導波管回路の開発 長谷川豊 (大阪府立大学)	14:06	V146a POLARBEAR 実験: 主焦点連続回転半波長板による交差偏波特性の評価 高倉理 (大阪大学)
09:54	V135b NANTEN2 マルチビーム受信機のクライオスタートの開発 堤大陸 (名古屋大学)	14:18	V147a 宇宙マイクロ波背景放射偏光観測実験 POLARBEAR-2 計画の進展 西野玄記 (高エネルギー加速器研究機構)
09:54	V136b NANTEN2 マルチビーム受信機の自動チューニングシステムの開発 漆原宏亮 (名古屋大学)	14:30	V148a 宇宙マイクロ波背景放射 B モード偏光観測実験 POLARBEAR-2 におけるビームマップ測定 (2) 濱田崇穂 (東北大学)
10:06	V137a NASCO に向けた NANTEN2 制御系の開発: 1. 全体設計 岩村宏明 (名古屋大学)	14:42	V149a 宇宙マイクロ波背景放射偏光観測実験 POLARBEAR-2 のための人工較正光源の開発 高取沙悠理 (総合研究大学院大学)
10:18	V138b NASCO に向けた NANTEN2 制御系の開発: 2. Linux/Python 化 兵頭悠希 (名古屋大学)	14:54	V150a 高感度大気水蒸気モニター“KUMODeS”の開発 - 長期試験観測 長崎岳人 (高エネルギー加速器研究機構)
10:18	V139b 光線追跡ソフトウェアによる広視野電波望遠鏡のビーム性能評価 今田大皓 (宇宙航空研究開発機構)	15:06	V151a 太陽系地球型惑星の中層大気環境監視プロジェクト SPART の進捗報告 前澤裕之 (大阪府立大学)

V2. 観測機器

9月14日(水) 午後・F会場		9月15日(木) 午前・F会場	
15:00	V201a 光ファイバベース 1.55 μm (193 THz) ヘテロダイン光干渉計の検討 その2 木内等 (国立天文台)	09:30	V213a TMT 計画 - 進捗報告 臼田知史 (国立天文台)
15:12	V202a IRD のためのモードスクランブラー試験 石塚将斗 (東京大学)	09:42	V214a TMT 計画: ハワイ建設許可状況とバックアップサイト選定 家正則 (国立天文台)
15:24	V203a 国産の天文観測用低ノイズ InGaAs 近赤外線イメージセンサーの試作 中屋秀彦 (国立天文台)	09:54	V215a 明るい星専用赤外線望遠鏡 IR-TMT 花上拓海 (東北大学)
15:36	V204b FOCAS 用イメージスライサー型面分光ユニットの開発 7 尾崎忍夫 (国立天文台)	10:06	V216b HSC 戦略枠観測のデータリリース状況 池田浩之 (国立天文台)
15:36	V205b FITE 用信号読み出し回路の改良と遠赤外線センサーの感度測定 大山照平 (大阪大学)	10:06	V217b HSC 画像からの自動ゴースト除去 小宮山裕 (国立天文台)
15:36	V206b 偏光分光観測による系外惑星水蒸気探査の実現可能性 高橋隼 (兵庫県立大学)	10:06	V218b すばる望遠鏡 HSC pipeline ヘルプデスク開設とその取り組み 大石晋恵 (国立天文台)
15:48	V207a TMT/MICHI 冷却チョッピングに用いる超伝導ボイスコイルモーターの性能評価 毛利清 (東京大学)	10:18	V219b チベットロボット三色撮像カメラ (HinOTORI): 輸送と建設 内海洋輔 (広島大学)
16:00	V208a 飛騨天文台 SMART T1 用 H α 線狭帯域チューナブルフィルターの開発 大辻賢一 (京都大学)	10:18	V220b 木曾超広視野高速 CMOS カメラ Tomo-e Gozen 実機の開発 - 基本設計 酒向重行 (東京大学)
16:12	V209a 狭帯域液晶チューナブルフィルター (TF-40) の製作 木村剛一 (京都大学)	10:18	V221b 木曾超広視野高速 CMOS カメラ Tomo-e Gozen 試験機による高頻度測光の評価 - 木真 (東京大学)
16:24	V210a 突発天体観測用天文台全球リレーのための気象モニターの開発 谷津陽一 (東京工業大学)	10:30	V222a 木曾超広視野高速 CMOS カメラ Tomo-e Gozen 試験機の機械系の開発 高橋英則 (東京大学)
16:36	V211a 地球型系外惑星大気分光に向けた高安定分光器の基礎研究 伊藤哲司 (大阪大学)	10:42	V223a 近赤外線観測装置 SWIMS の低温結像性能評価 大橋宗史 (東京大学)
16:48	V212a ぐんま天文台 150cm 望遠鏡による静止衛星観測の試み 橋本修 (ぐんま天文台)	10:54	V224b HONIR 用新検出器読み出しシステムのノイズ改善に向けた研究 森裕樹 (広島大学)
		10:54	V225b 近赤外線 2 色同時多天体分光撮像装置 SWIMS の検出器性能評価 寺尾恭範 (東京大学)

10:54	V226b nuMOIRCS Project 2: Final Imaging and Spectroscopic Performance 田中 壱 (国立天文台)	14:42	V238a WFIRST コロナグラフのための偏光補正デバイスの開発 村上尚史 (北海道大学)
11:06	V227a 京大岡山 3.8m 望遠鏡に搭載する分割主鏡制御システム 木野勝 (京都大学)	14:54	V239a 冷却補償光学系用「アサーマル型モノモルフDM」の試作品の評価 山口仁志 (京都産業大学)
11:18	V228a 京都大学飛騨天文台 SMART 太陽全面像高速撮像装置のハード設計・製作 仲谷善一 (京都大学)	V240c 多天体補償光学に向けた Open-Loop 補償光学系での波面補償の試験 鈴木元気 (東北大学)	
	V229c 可視偏光撮像観測装置 iPol の開発 楠根貴成 (名古屋市立大学)	V241c 補償光学シミュレーションに向けたシーイングの波長依存性の観測的評価 大屋真 (国立天文台)	
9月15日(木) 午後・F会場		15:06	V242a 天体観測のための補償光学システム開発 中村祐一 (大阪電気通信大学)
13:30	V230a 26cm 口径可視光望遠鏡によるフレア観測に向けた自動観測システムの構築 山田宗次郎 (中央大学)	15:18	V243a 飛騨常設補償光学系の開発: 光学系の校正と観測 三浦則明 (北見工業大学)
13:42	V231a 岡山天体物理観測所のリモート観測環境構築 2 柳澤顕史 (国立天文台)	V244c 西はりま VTOS によるスペックル観測とデータ処理(2): EMCCD の特性解析 桑村進 (北見工業大学)	
13:54	V232b 岡山 188cm 望遠鏡と高分散分光器 HIDES-F のキューモード観測環境の構築 前原裕之 (国立天文台)	9月16日(金) 午前・F会場	
13:54	V233b 埼玉大学望遠鏡・装置制御系“SaCRAシステム”による多波長複数装置同時観測 柴田吉輝 (埼玉大学)	09:30	V245a 大型低温重力波望遠鏡 KAGRA プロジェクトの現状 正田亜八香 (国立天文台)
13:54	V234b 太陽 GLAO のための波面センシング法の開発 三浦則明 (北見工業大学)	09:42	V246a 大型低温重力波望遠鏡 KAGRA の補助光学系の開発 VII 阿久津智忠 (国立天文台)
14:06	V235a 京大岡山 3.8m 望遠鏡搭載に向けた高コントラスト装置 SPLINE の開発 黒田真之佑 (北海道大学)	09:54	V247a 新しい姿勢制御方式を用いた重力波天体探査衛星 針田聖平 (東京工業大学)
14:18	V236a 瞳再配置型光学系による位相マスクコロナグラフの実証実験 2 赤岩夏海 (北海道大学)	10:06	V248a 革新技術実証衛星のためのスタートラッカーと地球カメラの開発 村木雄太郎 (東京工業大学)
14:30	V237a 広帯域コロナグラフ観測を目指した 3 層 8 分割位相マスクの特性評価 小室佑介 (北海道大学)	10:18	V249a 「あかり」近赤外線グリズム分光観測における二次光影響の補正: 液体ヘリウム枯渇後(1) 馬場俊介 (宇宙航空研究開発機構 / 東京大学)

V3. 観測機器

		9月14日(水) 午後・E会場	
10:30	V250a Nano-JASMINE と小型 JASMINE の進捗状況概要 郷田直輝 (国立天文台)	15:36	V301a 地球磁気圏 X 線可視化計画 GEO-X の検討現状 石川久美 (宇宙航空研究開発機構)
10:42	V251a Nano-JASMINE と小型 JASMINE のデータ解析の準備状況 山田良透 (京都大学)	15:48	V302a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 16: 裏面照射型 X 線 SOI ピクセル検出器の軟 X 線性能評価 林秀輝 (京都大学)
10:54	V252b 小型 JASMINE 光学系に最適な性能評価関数 鹿島伸悟 (国立天文台)	16:00	V303a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 17: Double-SOI 構造の P 型基板センサーの性能評価 伊藤真音 (京都大学)
10:54	V253b 小型 JASMINE 衛星の要素検証実験について 上田暁俊 (国立天文台)	16:12	V304a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 19: これまでの到達点と今後の開発 鶴剛 (京都大学)
	V254c Nano-JASMINE: 現状と FDCCD の PRF 測定 小林行泰 (国立天文台)	16:24	V305b SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 15: X 線 TID 効果の測定 西岡祐介 (宮崎大学)
10:54	V255b 宇宙赤外線背景放射の観測用ロケット実験 CIBER-2: 望遠鏡試験 高橋葵 (総合研究大学院大学)	16:24	V306b SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 18: サブピクセルレベルでの X 線性能評価 玉澤晃希 (東京理科大学)
11:06	V256a SPICA (次世代赤外線天文衛星) 計画の進捗状況 芝井広 (大阪大学)	16:24	V307b TES 型 X 線マイクロカロリメータを用いた高精度分光システムの構築 (3) 星野晶夫 (立教大学)
11:18	V257a SPICA 搭載 中間赤外線観測装置 SMI: ESA M5 提案に向けた仕様の確定 金田英宏 (名古屋大学)	16:36	V308a MeV ガンマ線撮像カメラ ETCC の改良と南半球気球実験計画 水村好貴 (京都大学)
11:30	V258a A SPICA far-IR spectrometer SAFARI toward ESA M5 proposal 土井靖生 (東京大学)	16:48	V309a 鉄 K α 線付近のエネルギー帯における大有効面積 X 線望遠鏡の開発 (II) 小林洋明 (名古屋大学)
		17:00	V310b PRAXyS 搭載用 X 線望遠鏡のためのサーマルシールドの開発 田原譲 (名古屋大学)
		17:00	V311b ISS 搭載を目指した GRB 偏光度検出器 LEAP のエンジニアリングモデルの開発 上田達也 (山形大学)

9月15日(木) 午前・E会場			
09:30	V312a X線天文衛星「ひとみ (ASTRO-H)」: 打ち上げとその後 高橋忠幸 (宇宙航空研究開発機構)	11:06	V323b 「ひとみ (ASTRO-H)」搭載 精密軟 X 線分光装置 (SXS) の軌道上における Crab Pulsar を用いた時刻較正 小山志勇 (宇宙航空研究開発機構)
09:42	V313a X線天文衛星「ひとみ (ASTRO-H)」 搭載軟 X 線望遠鏡 (SXT) の軌道上で の性能評価 Yoshitomo Maeda (宇宙航空研究開 発機構)	11:06	V324b 宇宙 X 線観測用マイクロカロリメータ ーのセンサ熱浴温度計測に対する軌道 上宇宙線擾乱と、信号処理によるそ の影響の低減 澤田真理 (青山学院大学)
09:54	V314a 「ひとみ (ASTRO-H)」搭載軟 X 線望 遠鏡に用いる反射鏡の反射率測定 中庭望 (首都大学東京)	9月15日(木) 午後・E会場	
10:06	V315a X線天文衛星「ひとみ (ASTRO-H)」 搭載硬 X 線望遠鏡 (HXT) の軌道上で の性能評価 粟木久光 (愛媛大学)	13:30	V325a X線天文衛星「ひとみ (ASTRO-H)」 搭載軟X線撮像検出器 SXI の軌道上 性能と較正の現状 森浩二 (宮崎大学)
10:18	V316a ASTRO-H 搭載 精密軟 X 線分光装置 SXS の開発の現状 XVI 辻本匡弘 (宇宙航空研究開発機構)	13:42	V326b X線天文衛星「ひとみ (ASTRO-H)」 搭載軟X線撮像検出器 SXI の軌道上 較正: 光漏れイベントの原因追求とそ の対策 内田裕之 (京都大学)
10:30	V317a 「ひとみ (ASTRO-H)」搭載 SXS 超流 動ヘリウム排気系の軌道上性能 江副祐一郎 (首都大学東京)	13:42	V327b X線天文衛星「ひとみ (ASTRO-H)」 搭載軟X線撮像検出器 SXI の軌道上 較正: クロストーク起源の擬似イベン ト発生とその対策 安田賢杜 (宮崎大学)
10:42	V318a 「ひとみ (ASTRO-H)」搭載 SXS の波 形処理装置の軌道上性能 石崎欣尚 (首都大学東京)	13:42	V328b X線天文衛星「ひとみ (ASTRO-H)」 搭載軟X線撮像検出器 SXI の軌道上 較正: バックグラウンドと検出効率 井上翔太 (大阪大学)
10:54	V319b 「ひとみ (ASTRO-H)」搭載 アラインメ ントモニタシステム (AMS) の軌道上性 能評価 飯塚亮 (宇宙航空研究開発機構)	13:54	V329b X線天文衛星「ひとみ (ASTRO-H)」 搭載軟X線撮像検出器 SXI の軌道上 較正: ゲインとレスポンス 坂田美穂 (宮崎大学)
10:54	V320b 「ひとみ (ASTRO-H)」搭載 SXS の軌 道上での観測スペクトルを用いた応答 関数の評価 佐藤浩介 (東京理科大学)	13:54	V330b X 線天文衛星「ひとみ (ASTRO-H)」 搭載機器の解析ソフトウェアの開発 寺田幸功 (埼玉大学)
10:54	V321b 「ひとみ (ASTRO-H)」搭載 SXS の高 エネルギー帯域スペクトルの較正 瀬田裕美 (首都大学東京)	14:06	V331a X 線天文衛星「ひとみ (ASTRO-H)」 搭載硬 X 線撮像検出器 (HXI) の軌道 上動作 萩野浩一 (宇宙航空研究開発機構)
	V322c 「ひとみ (ASTRO-H)」搭載 SXS 用デ ジタル波形処理器の地上試験での時 刻精度の検証 加藤優花 (埼玉大学)		

		9月16日(金) 午前・E会場
14:18	V332a X線天文衛星「ひとみ(ASTRO-H)」搭載軟ガンマ線検出器(SGD)の軌道上動作 深沢泰司(広島大学)	09:30 V339a 小型衛星計画 DIOS 搭載4回反射X線望遠鏡開発の現状 萬代絢子(名古屋大学)
14:30	V333a 「ひとみ(ASTRO-H)」搭載硬X線軟ガンマ線検出器におけるBGOアクティブシールドの軌道上性能 大野雅功(広島大学)	09:42 V340a 4回反射を用いた大有効面積X線望遠鏡の提案 馬場崎康敬(名古屋大学)
14:42	V334a 「ひとみ(ASTRO-H)」搭載SGDのBGOシールドを用いたガンマ線バースト位置決定能力の評価 田中晃司(広島大学)	09:54 V341a FORCE 高角度分解能硬X線望遠鏡に向けた、成膜による変形の克服 佐治重孝(名古屋大学)
14:54	V335a ALPACA 実験1:ALPACA 実験計画概要 大西宗博(東京大学)	10:06 V342a X線多重像干渉計の概念検討と基礎実験 林田清(大阪大学)
15:06	V336a Cherenkov Telescope Array(CTA)計画:全体報告(11) 窪秀利(京都大学)	10:18 V343a 湾曲結晶鏡のX線分光実験及び評価 鈴木涼太(中央大学)
15:18	V337b CTA 大口径望遠鏡初号機用カメラの最終デザイン 猪目祐介(甲南大学)	10:30 V344a X線偏光観測衛星PRAXySの進捗状況 玉川徹(理化学研究所)
15:18	V338b CTA 大口径望遠鏡初号機建設に向けた光学系最終デザインと品質管理 林田将明(東京大学)	10:42 V345a 硬X線偏光検出器PoGOLite 気球実験:2016年の再フライト 高橋弘充(広島大学)
		10:54 V346a 硬X線偏光検出器PoGOLiteの読み出し回路の改良(2) 大橋礼恵(広島大学)
		11:06 V347a ガンマ線バーストを用いた初期宇宙探査計画HiZ-GUNDAMの進捗(5) 米徳大輔(金沢大学)
		11:18 V348a 超小型衛星搭載を目指した重力波同期X線用撮像検出器の撮像システム開発 加川保昭(金沢大学)

W1. コンパクト天体

9月15日(木) 午前・H会場		9月15日(木) 午後・H会場	
09:30	W101a 銀河系中心核 Sgr A* の 43 GHz 帯における光度曲線の周期性解析 岩田悠平 (慶應義塾大学)	13:30	W111a 相対論的球対称流の相対論的形式解と簡単な応用例 福江純 (大阪教育大学)
09:42	W102a X線と可視光の同時モニタで迫る巨大ブラックホール降着流の幾何構造 野田博文 (東北大学)	13:42	W112a ブラックホール球対称風における光子捕捉効果 折橋将司 (大阪教育大学)
09:54	W103a Super-Eddington 光度下でのブラックホール Hyper-Eddington 降着流 櫻井祐也 (東京大学)	13:54	W113a ブラックホール回転エネルギー引抜きの因果的機構 II 小出眞路 (熊本大学)
10:06	W104a 近似ネットワークを用いた Type I X線バーストシミュレーション 松尾康秀 (九州大学)	14:06	W114a 超高輝度超新星を明るくするマグネターの楕円率への制限 守屋堯 (国立天文台)
10:18	W105a diskEQ モデルの MAXI J1659-152 への応用と状態遷移中の円盤の成長 久保田あや (芝浦工業大学)	14:18	W115a 強磁場中性子星マグネター一定常放射のナノフレア加熱モデル 竹重聡史 (京都大学)
10:30	W106a X線スペクトル構造から探る ULX 天体における降着描像への制限 小林翔悟 (東京大学)	14:30	W116a コア磁場とクラスト磁場を考慮したマグネター磁場の減衰 藤澤幸太郎 (早稲田大学)
10:42	W107a High Mass X-ray Binary における恒星風と降着流の整合性 谷治健太郎 (首都大学東京)	14:42	W117a MOA 望遠鏡を使った重力波フォローアップシステムの開発及び運用 朝倉悠一郎 (名古屋大学)
10:54	W108a ULS と ULX の統合モデル 小川拓未 (京都大学)	W118c X線衛星「すざく」と NuSTAR によるブラックホール X線連星 H 1743-322 の同時観測 志達めぐみ (理化学研究所)	
11:06	W109a ブラックホール連星 V404 Cyg の可視光から X線の広帯域同時観測 吉井健敏 (東京工業大学)	14:54	W119b Swift 衛星 XRT による X線連星 GRS 1739-278 のブラックホール質量推定 須藤雅之 (芝浦工業大学 / 理化学研究所)
11:18	W110a 可視偏光観測による X線連星 V404 Cyg の星間吸収量推定 伊藤亮介 (東京工業大学)	14:54	W120b MAXI/GSC の最大有効データ利用と BHC の光度曲線への応用 増満隆洋 (日本大学)
		14:54	W121b 「すざく」衛星による SS433 東側 X線ローブの観測 内山秀樹 (静岡大学)
		15:06	W122b TeV ガンマ線連星 HESS J0632+057 と 1FGL J1018.6-5856 における近赤外線放射の軌道依存性 千樹翔 (東海大学)

15:06	W123b Ghosh & Lamb の式と Be 型 X 線連星 パルサー X Per の中性子星の磁場 高木利紘(理化学研究所/日本大学)	10:42	W134a MAXI/GSC と Fermi/GBM による Be/ X 線連星パルサーの連続監視データ を用いた降着トルクによる中性子星ス ピンアップの定量的検証 杉崎睦(理化学研究所)
15:06	W124b マグネター磁気圏における X 線放射 の偏光 矢田部彰宏(早稲田大学)	10:54	W135a MAXI が検出した 2016 年度前半の 突発現象と MAXI J0911-655 と MAXI J0758-456 の発見とその正体 根来均(日本大学)
15:18	W125b パルサー磁気圏からのシンクロトロン 放射 木坂将大(青山学院大学)	11:06	W136a 強磁場中性子星極冠への超臨界降着 柱の輻射流体シミュレーション: ULX パルサーへの応用 川島朋尚(国立天文台)
15:18	W126b ボルツマン方程式を用いた一般相対 論的輻射輸送計算コードの開発 牧野芳弘(京都大学)	11:18	W137a 2次元輻射流体計算から迫る、宇宙 初期の超大質量ブラックホールの起源 竹尾英俊(京都大学)
	W127c 2SC カラー超伝導を考慮した高密度星 の冷却 野田常雄(久留米工業大学)		
9月16日(金)午前・H会場		9月16日(金)午後・H会場	
09:30	W128a 国際宇宙ステーション搭載予定 NICER ミッションの進捗とサイエンス 榎戸輝揚(京都大学)	13:30	W138a 電波パルサーの X 線光度を決定する 要因について 柴田晋平(山形大学)
09:42	W129a 「すざく」衛星による低質量 X 線連星 Sco X-1 の硬 X 線放射の観測(2) 岡田千穂(広島大学)	13:42	W139a M31 で発見された X 線パルサーは中 質量 X 線連星か? 鷹野重之(九州産業大学)
09:54	W130a 「すざく」を用いた LMXB のスペクトル 状態遷移の研究 小野光(東京大学)	13:54	W140a 降着駆動型 X 線パルサー GX 1+4 の 輝線放射領域 吉田裕貴(立教大学)
10:06	W131a MAXI/GSC と Swift/BAT による LMXB の Z ソースのコンプトン成分 II 浅井和美(理化学研究所)	14:06	W141a NuSTAR 衛星による降着駆動型パル サー 4U 1626-67 の観測 岩切渉(理化学研究所)
10:18	W132a Be 型 X 線連星パルサー GX304-1 の X 線アウトバーストの観測 中島基樹(日本大学)	14:18	W142a 単独中性子星 RX J1856.5-3754 から の keV X 線超過成分の発見 米山友景(大阪大学)
10:30	W133a Possible regular phenomena in EXO 2030+375 Eva Laplace (University of Tübingen; RIKEN)	14:30	W143a Swift 衛星を用いた強磁場パルサーの 系統的観測 渡邊瑛里(山形大学)
		14:42	W144a ガンマ線連星 PSR B1259+63 と HESS J0632+057 の近赤外偏光観測 森谷友由希(東京大学)

W2. コンパクト天体

9月14日(水) 午後・H会場		
15:00	W201a Swift 衛星で観測された X-Ray Flush の多波長解析 勝倉大輔 (青山学院大学)	W212c γ Cas 及び γ Cas 型天体 HD 110432 の X 線放射機構の推定 森鼻久美子 (兵庫県立大学)
15:12	W202a 電子エネルギー分布の時間進化を考慮したガンマ線バースト残光放射計算 福島拓真 (大阪大学)	17:00 W213b 矮新星 QZ Vir の 2015 年のスーパーアウトバースト 今田明 (京都大学)
15:24	W203a 相対論的衝撃波構造が GRB 放射スペクトルへ与える影響の評価 石井彩子 (東北大学)	17:00 W214b 共生連星 AG Pegasi の 2015 年増光時における分光観測 (2) 安藤和子 (岡山理科大学)
15:36	W204a 相対論的電子による光子エネルギー遷移過程を考慮した GRB 放射モデルの検証 鍋島史花 (東北大学)	17:12 W215b WZ Sge 型矮新星の分布 (2) 大谷徳紀 (岡山理科大学)
15:48	W205a ガンマ線バーストのジェット駆動機構解明のためのニュートリノ輻射輸送の研究 西野裕基 (京都大学)	
16:00	W206a ガンマ線バーストに付随する超新星の爆発モデル 早川朝康 (京都大学)	
16:12	W207a 質量比の大きい WZ Sge 型矮新星 ASASSN-16eg の発見 若松恭行 (京都大学)	
16:24	W208a ヘリウム激変星のスーパーアウトバーストと連星質量比 磯貝桂介 (京都大学)	
16:36	W209a 軟 X 線期にかけての新星風の加速モデルと超エディントン光度 和田健太郎 (東京大学)	
16:48	W210a NuSTAR 衛星による 2XMM J230059.9+585730 の X 線バーストの発見 島直究 (名古屋大学)	
17:00	W211b 強い吸収を受けた 6.7 keV 輝線放射天体 CXOGCS J174413.8-285424 佐治重孝 (名古屋大学)	

X. 銀河形成

9月14日(水) 午後・I会場		9月15日(木) 午前・I会場	
15:00	X01a Pa α 輝線で探る近傍 LIRG の空間分解された星形成活動 北川祐太郎 (東京大学)	09:30	X12a 赤方偏移 2 における Ly α 光度関数の明るい側と暗い側への強い制限 今野彰 (東京大学)
15:12	X02a 棒渦巻銀河の棒部における星形成の抑制 太田耕司 (京都大学)	09:42	X13a 直接温度法で探る $z \sim 2$ 星形成銀河の星間物質進化 小島崇史 (東京大学)
15:24	X03a 円盤銀河における Kennicutt-Schmidt 則の多様性の起源 諸隈佳菜 (国立天文台)	09:54	X14a 近赤外線分光観測で探る $z \sim 3.23$ の [OIII] 輝線銀河の物理状態 鈴木智子 (総合研究大学院大学 / 国立天文台)
15:36	X04a 円盤銀河における星の年齢速度分散関係の起源 熊本淳 (東北大学)	10:06	X15a ALMA Demographics of [CII]158 μ m and Dust Emission in Star-Forming Galaxies at $z \sim 5-9$ 藤本征史 (東京大学)
15:48	X05a MUSCL 法を用いた Godunov SPH 法の高次精度化 藤原隆寛 (筑波大学)	10:18	X16a 重力レンズを利用した $z > 6$ の銀河のサイズ測定と得られる物理的描像 川俣良太 (東京大学)
16:00	X06a 銀河形成シミュレーションによるパッシブ銀河の化学進化 岡本崇 (北海道大学)	10:30	X17a SXDF-ALMA 2-arcmin ² Deep Survey: 1.1-mm number counts 廿日出文洋 (国立天文台)
16:12	X07a 化学進化シミュレーション用ライブラリ CELib の開発 II 斎藤貴之 (東京工業大学)	10:42	X18a SXDF-ALMA 2 arcmin ² Deep Survey のデータを用いた無バイアスマリ波分子輝線銀河探査 山口裕貴 (東京大学)
16:24	X08a ダスト形成を考慮した孤立系銀河シミュレーションと観測量との比較 青山尚平 (大阪大学)	10:54	X19b ALMA cycle 2 サーベイデータを用いた $z = 6$ [CII] 輝線銀河探査 早津夏己 (東京大学)
16:36	X09a Cusp-core 問題における周期的な SN フィードバックによる重力場変動と DMH の中心密度分布の関連性 加藤一輝 (筑波大学)	10:54	X20b 赤方偏移 $z \sim 0.9$ の [OII] 輝線銀河の色と星質量、赤外線光度 村田一心 (宇宙航空研究開発機構)
16:48	X10b ダスト・ガス二流体で解く大質量星からの輻射フィードバック 一色翔平 (北海道大学)	10:54	X21b SSA22 原始銀河団領域における広範囲に渡る中性水素ガス密度超過 馬渡健 (大阪産業大学)
16:48	X11b 宇宙論的シミュレーションで探る Milky Way-mass galaxy の形成過程 畑千香子 (北海道大学)	11:06	X22a 近傍の星形成銀河における分子ガスの性質と銀河環境の関係 小山舜平 (東京工業大学 / 宇宙航空研究開発機構)
		11:18	X23a すばる望遠鏡 HSC で探る銀河団銀河の星形成史: $z \sim 1$ におけるパイロットスタディ 山元萌黄 (総合研究大学院大学)

9月15日(木) 午後・I会場		9月16日(金) 午前・I会場	
13:30	X24a ハーシェル宇宙望遠鏡で探る $z=2-3$ 原始銀河団の星形成活動 加藤裕太 (東京大学)	09:30	X36a 巨大ブラックホールのガス降着進化 : 非等方輻射フィードバックの効果 杉村和幸 (東北大学)
13:42	X25a 赤方偏移 2.5 の原始銀河団における 小質量の爆発的星形成銀河 林将央 (国立天文台)	09:42	X37a ブラックホール バルジ質量関係から得 られる銀河 ブラックホール共進化描像 白方光 (北海道大学)
13:54	X26a A protocluster at $z = 2.5$ II. ISM properties revealed by ALMA Minju Lee (東京大学)	09:54	X38a Subaru High- z Exploration of Low- Luminosity Quasars (SHELLQs) II 松岡良樹 (国立天文台)
14:06	X27a HSC すばる戦略枠観測サーベイによ る多重クエーサー系周囲の環境調査 尾上匡房 (総合研究大学院大学)	10:06	X39a Two-point angular correlation function of Dust Obscured Galaxies discovered by HSC and WISE Yoshiki Toba (ASIAA)
14:18	X28a 赤方偏移 7 の UV 光で明るい星形成 銀河の $\text{Ly}\alpha$ 輝線率の研究 古澤久徳 (国立天文台)	10:18	X40a HSC-FIRST radio galaxy survey. I. Selection and initial results 延原広大 (愛媛大学)
14:30	X29a 赤方偏移 $z=7.2$ ライマン α 輝線銀河の 遠赤外線 [OIII] $88\ \mu\text{m}$ 輝線の検出 井上昭雄 (大阪産業大学)	X41c 準解析的銀河・AGN 形成モデルへの スリム円盤モデルの導入 大木平 (カブリIPMU)	
14:42	X30a Hubble Frontier Fields 観測で探る高赤 方偏移銀河の紫外線光度関数と宇宙 再電離 石垣真史 (東京大学)	X42c クエーサー環境と周囲の銀河への フィードバック 菊田智史 (総合研究大学院大学 / 国立天文台)	
14:54	X31b 多波長分光データで探る $z=5-8$ におけ る銀河の星間物質と宇宙再電離 播金優一 (東京大学)	10:30	X43a 分子ガス密度の宇宙論的進化 前田郁弥 (京都大学)
14:54	X32b cosmic noon の小質量銀河の星形成 活動とその性質 日下部晴香 (東京大学)	10:42	X44a ALMA Millimeter Sizes of $z \sim 1-4$ Bright Submillimeter Galaxies Soh Ikarashi (Kapteyn Astronomical Institute, University of Groningen)
14:54	X33b $z \sim 6$ $\text{Ly}\alpha$ Emitters の $\text{Ly}\alpha$ 光度関数 と宇宙再電離 樋口諒 (東京大学)	10:54	X45a Central Structure of the Brightest Unlensed Submillimeter Galaxies 伊王野大介 (国立天文台)
15:06	X34a ALMA Deep Field in SSA22: The survey description and source catalogue 梅畑豪紀 (東京大学)	11:06	X46a SCUBA2 Lensing Survey Tomotsugu Goto (National Tsing Hua University)
15:18	X35a A spectroscopically confirmed double source-plane lens system in HSC-SSP 田中賢幸 (国立天文台)	11:18	X47a $z \sim 1$ と 0 の銀河団における早期型銀 河の等面輝度形状について 満田和真 (東京大学)

Y. 天文教育・その他

9月14日(水) 午前・I会場		
11:00	Y01a 光害の数値化について 本田陸人(東筑紫学園高等学校)	Y13c 「あかり」データアーカイブプロジェクトの現状(7) 山村一誠(宇宙航空研究開発機構)
11:12	Y02a ワークショップ「古典」オーロラハンター 藤原康徳(総合研究大学院大学)	Y14c 分光データを用いた自主学習型解析体験教材の開発 伊藤信成(三重大学)
11:24	Y03a 花山天文台における小学生のための天文普及活動「みんなで作るバタフライダイアグラム」 鴨部麻衣(京都大学)	Y15c 全天モニタ画像の残差の評価と補正について 小澤友彦(紀美野町文化センター)
11:36	Y04a ふれあい天文学6年間の軌跡 -アンケート調査から見えてきたこと 縣秀彦(国立天文台)	Y16c 岡山天文博物館所蔵の分光器「新カセ」についての展示解説 安藤和子(岡山理科大学)
11:48	Y05a プロジェクト型アウトリーチ活動における大学生の学習効果に関する質的研究: 高校生向け天文学者職業体験企画(もし天)に焦点を当てて 田中幹人(東北大学)	
12:00	Y06a Mitakaを活用した教員免許更新講習 福田尚也(岡山理科大学)	
12:12	Y07a 4次元デジタル宇宙ビューワー「Mitaka」のVR対応について 加藤恒彦(国立天文台)	
12:24	Y08a 国際天文学連合・天文普及グローバルプロジェクトへの参加 臼田-佐藤功美子(国立天文台)	
12:36	Y09b 大学教養教育における実証的な天文教育の試みについて 上田晴彦(秋田大学)	
12:36	Y10b 教員志望学生を対象にした天体望遠鏡実習の授業実践とその効果 下井倉ともみ(東京学芸大学)	
12:36	Y11b アクロマート屈折望遠鏡で超色消し画像を得る試み 竹内彰継(米子工業高等専門学校)	
12:48	Y12b 天体の地球衝突問題に対する国内外の活動について 吉川真(宇宙航空研究開発機構)	

2016年8月20日発行

年会実行委員会

委員長	佐藤文衛	(東京工業大学)
委員	石川遼子	(国立天文台)
	酒井剛	(電気通信大学)
	左近樹	(東京大学)
	鈴木知治	(中部大学)
	鈴木竜二	(国立天文台)
	寺田幸功	(埼玉大学)
	永井洋	(国立天文台)
	諸隈智貴	(東京大学)
	中道晶香	(京都産業大学) 保育室担当

年会開催地理事

寺島雄一 (愛媛大学)